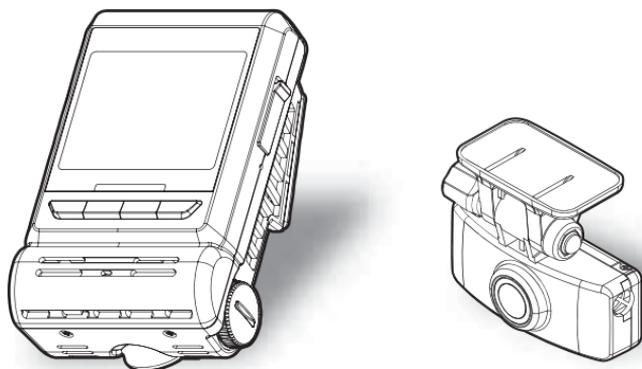


ドライブレコーダー HDR801

取付説明書／取扱説明書／保証書



事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。

お買い上げ時の設定では、液晶ディスプレイは安全運転の妨げとならないように、起動後速度 10km/h 以上で走行すると非表示に切替わります。(⇒ P62)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることが出来る所に保管してください。なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

⚠ 注意

- ・本製品が動作中、表面が高温になる場合がありますが、異常ではありません。
- ・本製品が動作中、通気孔付近や電源接続コネクター、カメラ接続端子、レンズ、microSD カードスロット周辺、microSD カードは特に高温になります。触れる際はご注意ください。
- ・本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSD カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行ってください。※ 駐車監視モード中は P74 を参考に取出しを行ってください。



COMTEC

はじめに

取付け

映像を撮る

映像を見る

設定

駐車監視モード
を使用する

その他

目次

目次	2	保存ファイルを開く	51
はじめに	3	更新情報について	52
安全上のご注意	3	設定	53
ご使用上のお願い	5	設定方法	53
知っておきたいこと	7	設定内容一覧	55
新しい microSD カードを 使用する場合について	9	録画・録音設定	57
microSD カードの 取り出し方について	10	機能設定	60
梱包内容	11	機器情報	70
各部名称	12	駐車監視モードを使用する (オプション)	71
別売オプション	13	駐車監視モードについて	71
取付方法	14	駐車監視モードの動作について	72
取付手順を確認する	14	駐車監視モード作動中の microSD カードの取り出し方	74
シガープラグコードを接続する	14	駐車監視モードの各種設定	74
取付位置を確認する	15	補償サービス	79
フロントカメラを取付ける	16	補償サービスについて	79
リヤカメラを取付ける	20	付録	83
日時を設定する	23	よくあるご質問	83
動作を確認する	24	LED ランプ確認表	84
映像を撮る	26	お知らせ音一覧表	84
映像の記録について	26	オートディマー機能	85
電源を ON にする	33	商標について	85
電源を OFF にする	33	メッセージ一覧表	86
リセットスイッチについて	33	製品仕様	88
録画面面表示	34	さくいん	89
映像を見る	36	保証規定	91
フロントカメラで映像を再生する	36	HDR801 保証書	裏面
録画データの種別を変換する	38		
ナビゲーションで映像を再生する	41		
パソコンで映像を再生する	42		
パソコンで録画データを保存 / 削除する	48		
地図を表示する	50		
地図表示について	51		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。

 **警告** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけていただきたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。

 警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。

はじめに

⚠ 警告	
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
	エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
	microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
	本製品を使用する場合は必ず弊社が指定した電源ケーブルをご使用してください。指定以外のものを使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
⚠ 注意	
	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
	フロントカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
	本製品を下記のような場所で保管しないでください。変色や変形など故障の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。・湿度が高い所やほこりの多い所。
	microSD カードを本製品に挿入する場合、挿入方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・本製品に静電気や電気ノイズが加わった場合・本製品を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合
	一部の先進運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。
- microSD カードを抜く時は必ず、車両キースイッチ OFF 後 microSD カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認してから抜いてください。microSD カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSD カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSD カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSD カード内に本機以外のデータを入れしないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画を保存することをおすすめします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

はじめに

- ガラスにスモークフィルムが貼られた車両（純正プライバシーガラス装着車除く）や夜間の明かりがない場所などでは、道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。
- 弱電界地域では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- ドライブサポート機能は、運転者の負担軽減を目的とし、周辺状況を補助的にお知らせする機能です。すべての周辺状況を判断することはできません。お知らせの有無にかかわらず、必ず運転者が状況を確認して運転を行なってください。
- 本製品にはお買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。
（ただし microSD カード、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません）
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア（ファームウェア）のアップデートプログラムを弊社ホームページで公開する場合があります。定期的に弊社ホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでのご使用を推奨します。
※ アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は DC12V/24V 車専用です。
- 本製品を使用する場合は、必ず付属のシガープラグコードまたは専用オプション品を使用してください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

● 液晶ディスプレイについて

- ・液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
※上記の状態でディスプレイが表示されていない場合でも、その他の機能は正常に動作しています。

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

はじめに

● GPS の速度表示について

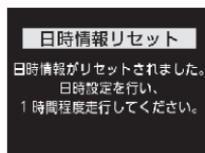
GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

● 日時情報保持用の内蔵バッテリーについて

・本製品は日時情報を保持するためにフロントカメラ内部にバッテリーを搭載しています。

・初めて使用する場合や長期末使用(6ヶ月以上)の場合は、1時間ほど走行し内蔵バッテリーの充電を行なってからご使用ください。

内蔵バッテリーは消耗品のため充電を行っても右記メッセージ画面が表示される場合は、内蔵バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。



● microSD カードについて

・付属の microSD カードは本製品専用です。

・本製品の使用には、microSD カードが必要です。

本製品の対応 microSD カードと付属 microSD カードは以下の通りです。

※対応 microSD カード：8GB～128GB (class10 推奨)

※本製品付属 microSD カード：32GB (class10)

・**microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約1～2年を目安に交換することをおすすめします。また、使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。**

※**寿命となった microSD カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。**

・microSD カードをパソコンでフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。

・本製品使用時は付属または別売りオプションの microSD カードを使用してください。**弊社製品以外の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。**

● Recolize について

「Recolize」は高性能プロジェクター等で使用されるマクセル株式会社の映像処理技術「ACCENTUALIZER (アクセンチュアライザー)」を使用した新たな映像補正機能です。

Retinex 理論*を映像処理に適用し、映像を人の視覚特性に合わせて補正することで、映像の「色鮮やかさ」「精細感」「光沢感」を向上して見やすい映像を実現します。明暗差を補正する HDR 機能に対し、本製品では明暗差の補正に加え、色鮮やかさおよび精細感も補正することにより視認性向上を実現します。

※ Retinex 理論：人間の視覚特性をモデル化した理論

● PureCel® Plus-S について

本製品には、夜間やトンネル内などの暗い場所でもノイズが少なく鮮明な映像を記録できる、オムニビジョン社の PureCel® Plus-S 技術を搭載した CMOS センサーを採用しています。

● 本製品のファイルシステムについて

- ・本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。
- ・本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる microSD カードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSD カードを定期的にフォーマットせずに使用することができます。
※本製品は microSD カードを定期フォーマットせずにご使用いただけますが、microSD カードは消耗品のため、**その特性上、フォーマットいただいた方がより長く使用することができます。**
- ・本製品で記録したデータをパソコンなどで削除を行うと、本製品に戻した際に録画データの整合性が取れず SD カードの初期化画面へ移行します。記録したデータを削除する場合は、ビューワソフトを使用して削除する、または本製品の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。
- ・パソコンなどでフォーマットを行なった microSD カードを本機へ挿入すると SD カードの初期化画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行なってください。

● パソコンでのフォーマットについて

パソコンで microSD カードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。

URL : <https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

※フォーマットをすると、microSD カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。

● ビューワソフトについて

専用ビューワソフトは弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp>) よりダウンロードを行うことができます。

新しい microSD カードを使用する場合について

新しい microSD カードや別売オプションの microSD カードを使用する際は必ず、本製品で SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P68)

はじめに

microSD カードの取り出し方について

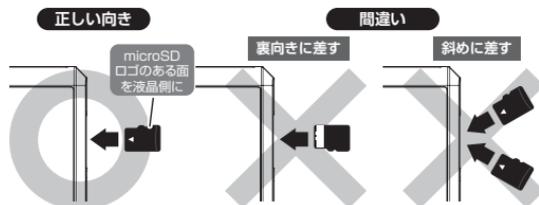
- microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで押し込んでください。
- 駐車監視モード中は P74 を参考に取り出してください。



※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSD カードの口ゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理に挿入すると破損します。

⚠ 注意

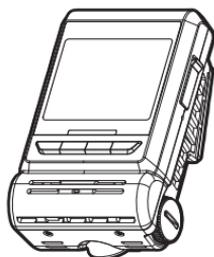
- 本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、microSD カードスロット周辺、microSD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。
- 本製品が高温の場合は、温度が下がった後で microSD カードの抜き差しを行なってください。
- エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSD カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行なってください。
- ※ 駐車監視モード動作中は P74 を参考に駐車監視モードを終了させ、取り出しを行なってください。
- microSD カードをフロントカメラの microSD カードスロットに挿し込む際は、向きや挿入方向にお気を付けてください。無理に挿入すると、microSD カードスロットの破損や microSD カード自体の破損の原因となります。
- microSD カードを抜く際に、ラジオペンチなどの工具を使用しないでください。microSD カード破損の原因となります。
- microSD カードの移動や保管する場合は、付属のカードケースの利用をおすすめします。



梱包内容

- ご使用いただく前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。
- 万一不足している物があったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。

HDR801 フロントカメラ



リヤカメラ



付属品

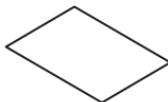
カメラケーブル (約 9m)

リヤカメラ取付ステー
固定用両面テープ (1 枚)

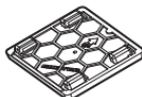
コードクランプ (3 個)

SD カード変換アダプター
(カードケース付き 1 枚)HDR801 専用
シガープラグコード
(約 4m/2A ヒューズ内蔵)

脱脂クリーナー (1 枚)



取付ステー



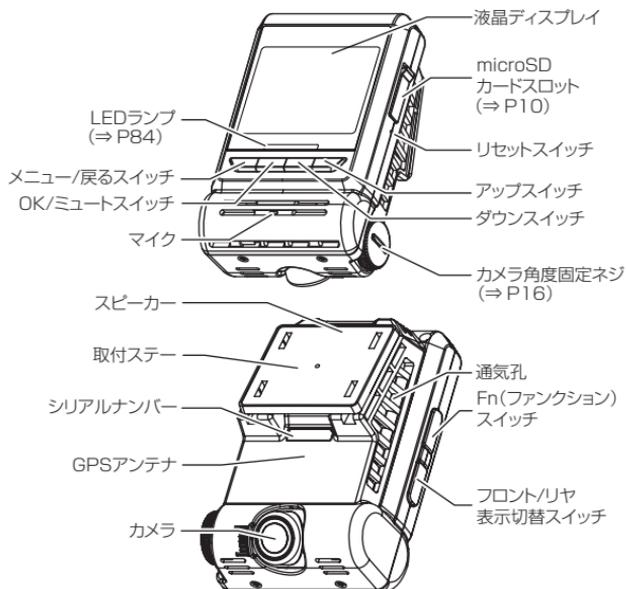
取扱説明書 (本書 / 1 冊)

フロントカメラ取付ステー
固定用両面テープ (1 枚)ステッカー (1 枚)
(150 × 42mm)microSD カード
(32GB/1 枚)

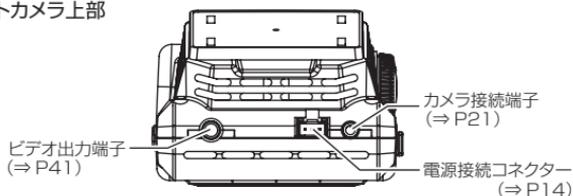
※出荷時フロントカメラに
セットされています。

はじめに

各部名称



■フロントカメラ上部



⚠ 注意

- ・ microSD カードは消耗品であり、約 1 ~ 2 年を目安に交換することをおすすめします。
- ・ microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 駐車監視モードなど長時間録画を行うと早めの交換が必要になります。
- ・ 付属品や別売オプション品以外の microSD カードの動作保証は致しかねます。
- ・ 本製品が動作中、表面が高温になる場合がありますが、異常ではありません。
- ・ 本製品が動作中、通気孔付近や電源接続コネクタ、カメラ接続端子、レンズ、microSD カードスロット周辺、microSD カードは特に高温になります。触れる際はご注意ください。
- ・ フロントカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

別売オプション

品名	使用目的 / 仕様	品番	
ステッカー [ドライブレコーダー 搭載車]	サイズ：150(W) × 42(H)/mm 1枚入り	HDROP-06	
ステッカー [駐車監視中]	サイズ：62(W) × 36(H)/mm 2枚入り ※透明ステッカーに白色印刷タイプ	HDROP-07	
microSD カード	メモリ容量：8GB / 16GB 32GB / 64GB / 128GB スピードクラス：class10	8GB	HDROP-08
		16GB	HDROP-16
		32GB	CDS-32GB
		64GB	CDS-64GB
		128GB	CDS-128GB
AVケーブル	ドライブレコーダーの映像をナビゲーションなどで表示するためのケーブルです。(ケーブル長：約2.0m)	VC-100	
駐車監視・ 直接配線コード	本製品へ接続することで、車両キースイッチ OFF 後も車両バッテリーから電源供給を行い、録画を行うことができます。また、シガープラグコードや直接配線コードを別途配線する必要はありません。 (ケーブル長：約4.0m/2Aヒューズ内蔵)	CDOP-01P	
直接配線コード	本製品の電源を直接車両から取る際に使用します。 (ケーブル長：約4.0m/2Aヒューズ内蔵)	CDOP-02D	
シガープラグコード	車両シガーソケットから電源を取ることができます。 ※付属品と同仕様 (ケーブル長：約4.0m/2Aヒューズ内蔵)	CDOP-03CP	
両面テープ	フロントカメラ取付ステー固定用両面テープ	HDROP-17	
ステーセット	フロントカメラ取付ステーとフロントカメラ取付ステー固定用両面テープのセットです。 ※付属品と同仕様	HDROP-27	
両面テープセット	フロントカメラおよびリヤカメラ取付ステーを固定する際に使用する両面テープセットです。 ※付属品と同仕様	HDROP-37TS	
カメラケーブル (約9m)	リヤカメラとの接続するために使用するケーブルです。 ※付属品と同仕様	CDOP-04C	

取付方法

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。

車両に本製品を取付ける (P16 ~ P18, P20 ~ P22)

日時を設定する (P23)

動作確認を行う (P24 ~ P25)

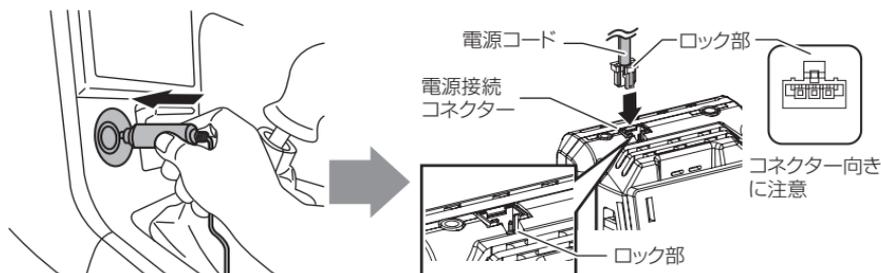
フロントカメラの液晶で
映像を確認する
(P36 ~ P37)

パソコンで映像を確認する
(P42 ~ P45)

終了

シガープラグコードを接続する

車両シガーソケットに付属の専用シガープラグコードを挿し込み、フロントカメラの電源接続コネクタに電源コードを挿し込んでください。

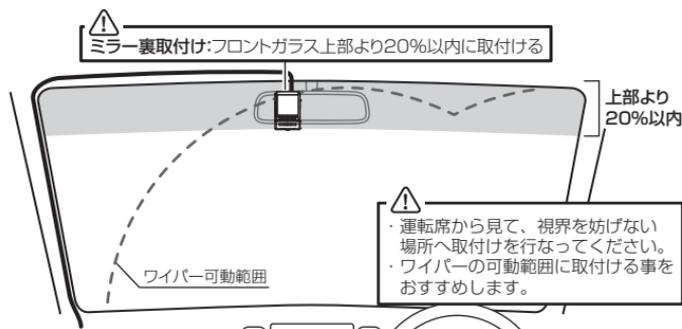


⚠ 注意

- 電源接続コネクタには向きがあるため、無理に挿し込むと破損します。また、取外しの際はロック部を押しながら引き抜いてください。無理に配線を引っ張ると破損します。
- 本製品を使用する場合は、必ず付属の専用シガープラグコードや専用オプション品を使用してください。

取付位置を確認する

本製品はフロントガラスに取付けることができます。保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。



⚠ 注意

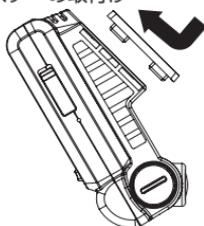
- ・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
※道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37
※コードクランプなどの貼付けも保安基準違反となるため、絶対に行わないでください。
※道路運送車両の保安基準第21条（運転者席）、細目告示第27条および別添29
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見つらなくなる場合があります。
- ・地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行なってください。
- ・本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・取付ける車両や取付位置により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずGセンサー設定を見直してください。
- ・フロントカメラ側に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

取付方法

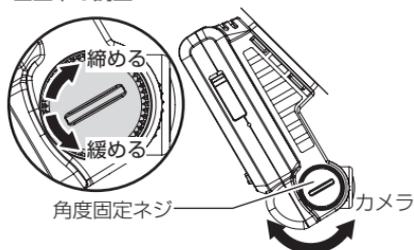
フロントカメラを取付ける

- 1) フロントカメラのカメラ角度固定ネジを緩めた状態で仮固定し、カメラ取付角度を調整します。調整後にカメラ角度固定ネジを締めます。
 - ・フロントカメラをフロントガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらフロントカメラが地面と水平になるように角度を調整してください。
 - ・角度調整を容易に行うため、取付ステーをフロントガラスへ貼付ける前に角度調整を行なってください。

■ステーの取付け



■上下の調整



⚠ 注意

- ・必ず角度固定ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・角度固定後は角度固定ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- ・角度固定ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

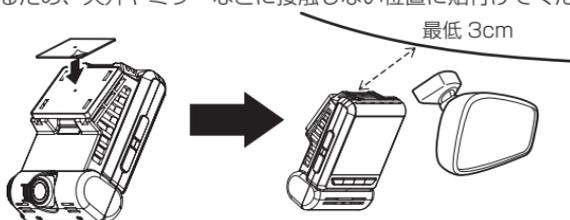
液晶の映像を確認しながら角度調整を行なっている際も、常時録画データやイベント録画データの記録を行なっているため、ご注意ください。

👉 アドバイス

- ・液晶表示が消えた場合、【メニュー/戻る】スイッチを短押しすることで30秒間液晶が再表示されます。(液晶表示が速度連動で走行中は除く)(⇒ P62)
- ・撮影した映像が暗い場合はカメラ輝度調整の設定を変更するか、本製品を少し下向きになるように角度を調節してください。
- ・カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズれてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。
- ・広角レンズを採用しているため、ステー取付角度によって、画面両端上に取付ステーが映り込むことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・フロントガラスの取付け許容範囲は傾斜角 20°～60°です。

- 2) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、**よく乾かした後**、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。

※フロントカメラをステーから取外す(⇒P19)際、上方向にスライドする必要があるので、天井やミラーなどに接触しない位置に貼付けてください。



⚠ 注意

自動車の機能(エアバッグ等)の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。

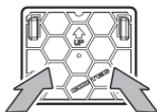
👉 アドバイス

- ・ステーを貼付ける際は片側から順に少しずつ貼付けると、空気が入りにくくきれいに貼れます。

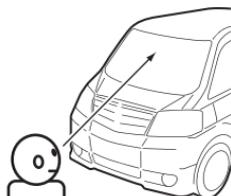
※一度に貼付けると空気が入りやすくなり、ステーが剥がれやすくなります。空気が残ってしまった場合は、中心の穴から空気を抜いてください。



- ・貼付け面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラがないようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがないことを確認してください。



ステー貼付面を裏側から押さえる。



車外から貼付面にムラがないことを確認する。

◇ステー貼付面

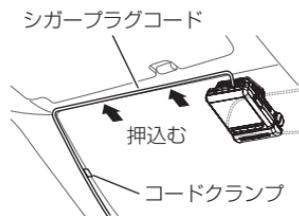


取付方法

剥がれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・必ず付属のクリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、**乾いてから**取付けを行なってください。**パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。**剥がれの原因となります。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、フロントカメラをフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、動作不良や両面テープ剥がれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- ・一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼付いていないと剥がれることがあります。

3) シガープラグコードの配線取回しを行なってください。



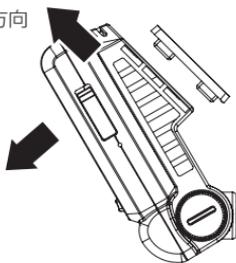
- ・運転の妨げにならないように、付属のコードクランプ等を使用し、配線の取回しを行なってください。
- ・地デジやビデオ、ワイパー、ETC等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ・先進運転支援システムのカメラやセンサーなどへケーブルを這わせて配線を行なわないでください。
- ・ケーブルの余長を車両 ECU やプロワモーターなどの付近へ束ねないでください。
- ・各装置より離して余長処理を行なってください。

フロントカメラを取外す

フロントカメラを上方向へスライドし、本体を取外します。

- ①フロントカメラを上方向
へスライドする

- ②引抜く



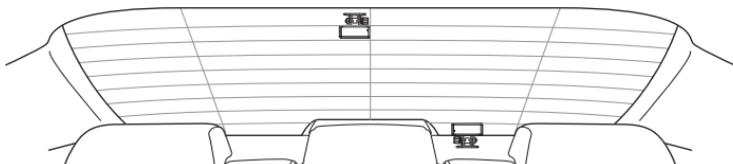
⚠ 注意

- 工具は使用しないでください。破損の原因となります。
- 再取付後は奥までしっかりと確実に固定してください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。

取付方法

リヤカメラを取付ける

リヤカメラは必ず下記内容をご確認のうえ、リヤガラスまたはリヤトレイ等に取付けてください。またフロントカメラ取付時の注意事項（⇒P16～P18）も参考にしてください。



リヤカメラを取付ける前に下記内容を必ずご確認ください。

- ・リヤガラスが可動する車両やリヤガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リヤカメラはリヤトレイなどに取付けてください。
- ・リヤガラスの色が濃い場合や、フィルムを貼っている場合、夜間に記録した映像が見えにくくなる場合があります。
- ・電動リヤサンシェードなど車両の装備と干渉しないことを確認の上、取付けを行なってください。
- ・ワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。範囲外に取付けるとリヤガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・両面テープの貼付け面がリヤガラスの電熱線と重ならないように取付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

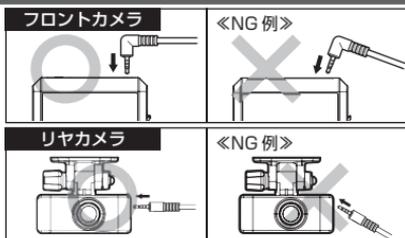
カメラケーブル施工時の注意について

カメラケーブルを抜き差しする際はプラグ部に荷重がかからないようにまっすぐに抜き差ししてください。



カメラとケーブルを接続する際、以下の点にご注意ください。プラグ部破損の原因となります。

ジャックに対し、プラグを斜めに挿す



プラグ端子・配線に負荷をかける



端子部を工具ではさむ



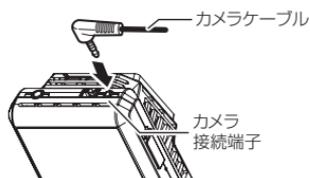
プラグを無理に押し込む

取付方法

※ 本書ではリヤガラスへの取付けを例に説明を行います。

- 1) フロントカメラのカメラ接続端子に付属のカメラケーブルをまっすぐに接続します。

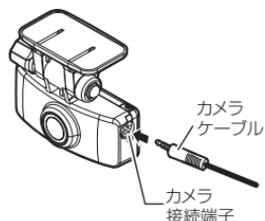
※ カメラケーブルの**L字プラグ側をフロントカメラ**へ接続してください。



- 2) リヤカメラのカメラ接続端子にカメラケーブルを『カチッ』と音になるまでまっすぐに押し込み接続します。

※ カメラケーブルの**ストレートプラグ側をリヤカメラ**へ接続してください。

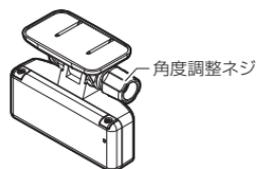
※ **必ず**カメラケーブルを奥まで押し込んでください。接触不良によりリヤカメラの接続確認メッセージが表示される場合があります。



- 3) ステアの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、リヤカメラの取付角度を調整します。調整後に角度調整ネジを締めます。

※ 仮固定する際は、市販の粘着力の弱いテープなどを使用してください。

※ ステア部をリヤガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらリヤカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。

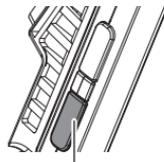


⚠ 注意

本製品が動作している状態でカメラケーブルの抜差しを行わないでください。故障の原因となります。

👉 アドバイス

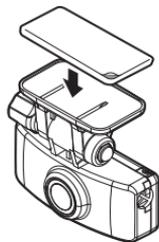
- ・録画画面の表示は[フロント/リヤ表示切替スイッチ]を押すたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切替わります。(⇒ P35)
- ・カメラケーブルを接続していないと、起動時にブザー音とメッセージ画面でお知らせします。



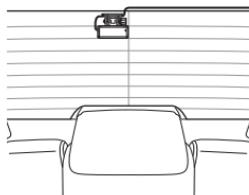
フロント / リヤ表示切替スイッチ

取付方法

- 4) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびリヤガラスを清掃し、**よく乾かした後**、取付ステーに両面テープを貼付け、リヤガラスに貼付けます。



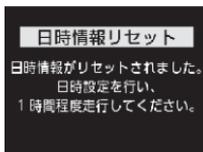
- 5) カメラケーブルの配線の取回しを行なってください。
- ※ 運転の妨げにならないよう、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
 - ※ 地デジやラジオ、ETC等のコードと一緒に束ねないようにしてください。



日時を設定する

車両に本製品を取付けた後に日時設定を行なってください。

- ※ GPS 衛星を受信すると自動的に日時が設定されます。
- ※ 本製品は日時情報を保持するためにフロントカメラ内部にバッテリーを搭載しています。内蔵バッテリーが消耗すると日時情報がリセットされ、起動時にメッセージ画面とブザー音でお知らせします。その場合正確な日時で映像が記録できなくなるため、必ず日時を設定し直してください。



アドバイス

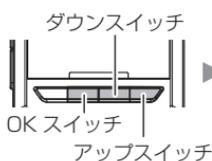
GPS 衛星が受信しにくい場所では、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。

設定方法

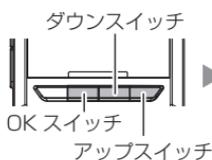
- 1) 【メニュー/戻る】を長押しし、
【メインメニュー】を表示する。
※ 60 秒間スイッチ操作を行わない
と録画画面に戻ります。



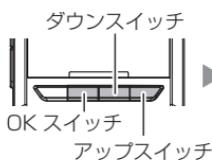
- 2) 【アップ】【ダウン】を押し【機能設定】を選択し【OK】を押す。



- 3) 【アップ】【ダウン】を押し【日時設定】を選択し、【OK】を押す。



- 4) 「年/月/日/時/分/秒」の各項目を【アップ】【ダウン】で変更し【OK】を押すことで次の項目に移動し、「秒」で【OK】を押すと設定完了です。



取付方法

動作を確認する

1. GPS の受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、フロントカメラ起動後、GPS アイコンが灰色から白色に変わり速度が表示されることを確認してください。
※ GPS の受信には数十秒～数分かかる場合があります。



アイコン	表示内容
	GPS を受信時に表示
	GPS を未受信時に表示

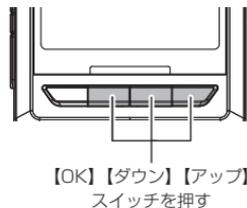
アドバイス

下記のような場所では、GPS を受信することができず、GPS アイコンの表示および速度の表示がされません。（トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中など）その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

2. マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【OK】【ダウン】【アップ】スイッチのいずれかを押ししてください。

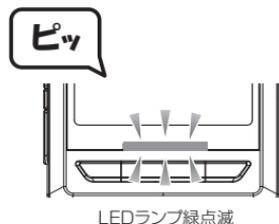
※ Fn スwitchの設定を [録画] に設定している場合、Fn スwitchでもマニュアル録画を行うことができます。(⇒ P61)



取付け

- 2) 『ピッ』と音が鳴り、LED ランプが緑点滅を始め、音声および録画データを記録します。

※ 音声は自動で録音されます。



👉 アドバイス

お買い上げ時の録音設定は [ON (大)] になっています。設定で [ON (小)] や [OFF] にすることもできます。(⇒ P57)

3. 記録した映像を確認する

記録した映像を確認してください。(⇒ P36)

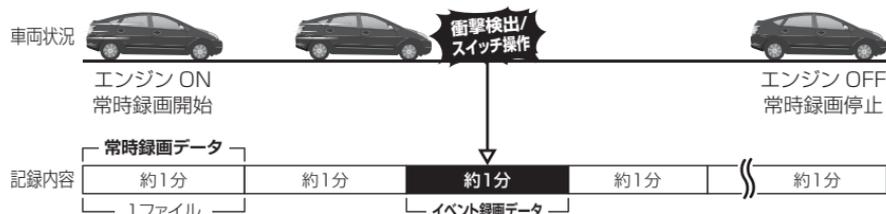
《確認内容》

- ・『常時録画』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること。
- ・『マニュアル録画』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること。
- ・録画データに音声録音されていること。
- ・【フロント/リヤ表示切替】スイッチを押して、リヤカメラの映像が記録されていること。

映像を撮る

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

👉 アドバイス

- ・お買い上げ時の設定では、microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。(⇒ P58)
- ・フロントカメラ起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了(⇒ P53, 54) させるか、メッセージ(⇒ P86, 87) を解除してください。
- ・本製品は、重大な事故などで電源が遮断された場合でも記録中の録画データの破損を防ぎ保存を行う、バックアップ機能を搭載しています。

常時録画について

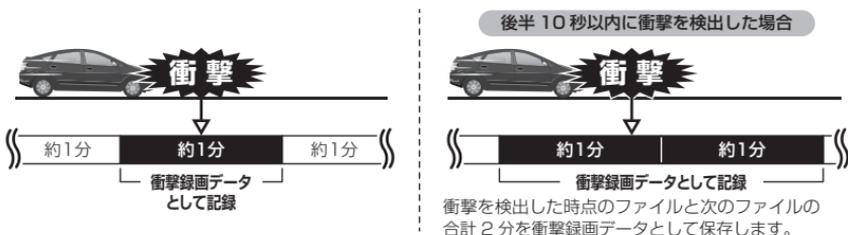
- ・エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした後からエンジンを OFF (車両キースイッチを OFF) にするまでを、常時録画データとして microSD カードに自動で記録を続けます。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

イベント録画について

- ・ イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、スイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』、駐車中の衝撃を検出した時点のファイルを記録する『駐車監視衝撃録画データ』の3種類があります。
- ・ お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P58)

■ 衝撃録画データ

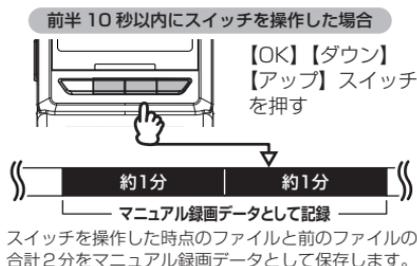
- ・ 本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後データの 2 分 / 2 ファイル分を『衝撃録画データ』として記録されます。
- ・ G センサーの感度は設定により前後・左右・上下それぞれ 0.1G 単位で調整することができます。(⇒ P60)



映像を撮る

■マニュアル録画データ

- ・本製品のスイッチ（【OK】【ダウン】【アップ】スイッチ）を押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・ただし1ファイルの前半10秒以内または後半10秒以内に、スイッチを操作した場合、前もしくは後データの2分/2ファイル分を『マニュアル録画データ』として記録されます。



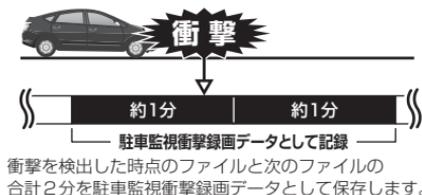
■駐車監視衝撃録画データ

- ・駐車監視モード中に本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。ただし、[駐車監視録画方式]設定を【衝撃】に設定した場合は、衝撃検出時点の5秒前から1分間を『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・駐車監視モード中のGセンサーの感度は設定により[高（敏感）/中/低（鈍感）]の3段階で調整することができます。（⇒P76）

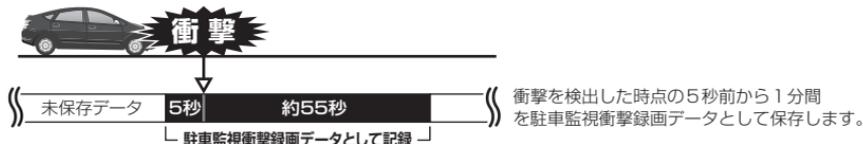
◆常時・衝撃に設定した場合



◆後半10秒以内に衝撃を検出した場合



◆衝撃に設定した場合



microSD カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSD カードの容量、録画サイズ設定、画質設定により変動します。下記表を参考にしてください。（下記表は常時録画およびイベント録画を含めた時間です）

※ 対応 microSD カード：8GB～128GB（class 10 推奨）

※ 本製品付属 microSD カード：32GB（class 10）

microSD カード容量	フレーム レート	録画サイズ			
		FullHD		HD	
		高画質	低画質	高画質	低画質
8GB	28.1fps	約 35 分	約 45 分	約 50 分	約 95 分
	タイムラプス	約 8 時間	約 11 時間	約 12 時間	約 23 時間
16GB	28.1fps	約 75 分	約 95 分	約 105 分	約 195 分
	タイムラプス	約 19 時間	約 24 時間	約 27 時間	約 49 時間
32GB	28.1fps	約 150 分	約 190 分	約 210 分	約 385 分
	タイムラプス	約 38 時間	約 48 時間	約 53 時間	約 95 時間
64GB	28.1fps	約 310 分	約 385 分	約 430 分	約 780 分
	タイムラプス	約 75 時間	約 95 時間	約 105 時間	約 190 時間
128GB	28.1fps	約 625 分	約 780 分	約 865 分	約 1565 分
	タイムラプス	約 155 時間	約 190 時間	約 215 時間	約 390 時間

※ 太枠は付属 microSD カードを示します。

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【FullHD】、画質が【高画質】フレームレートが【28.1fps】イベント録画領域が【20%】駐車監視録画割合が【5%】に設定されています。

※ 上記の記録時間はあくまで初期設定での参考値です。設定により記録時間は異なります。

※ 市販の microSD カードを使用する場合は、必ず動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 使用する microSD カードによっては上記録画時間と異なる場合があります。

映像を撮る

初期設定の記録件数の目安

初期設定値【FullHD・高画質・28.1fps・録画領域 20%・駐車監視録画割合 5%】の場合（163 件記録した場合）

容量	常時録画	イベント録画	駐車監視常時録画	駐車監視衝撃録画
32GB	124 件	31 件	6 件	2 件

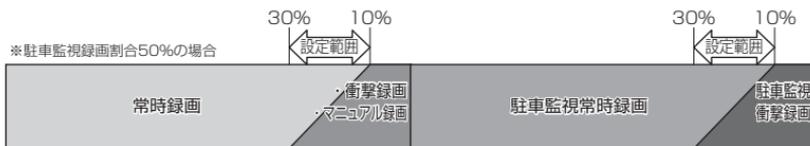
※ 駐車監視録画の最低録画件数は 5 件となります。うち駐車監視常時録画は 3 件、駐車監視衝撃録画は 2 件となります。

⚠ 注意

- ・付属品以外の microSD カードを使用する際は必ずフロントカメラで SD カードの初期化（⇒ P68）を行なってください。
- ・microSD カードは消耗品であり、1 日 2 時間程度使用する場合で約 1 ～ 2 年を目安に交換することをおすすめします。
- ・microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・付属品や別売オプション品以外の microSD カードの動作保証は致しかねます。

録画領域について

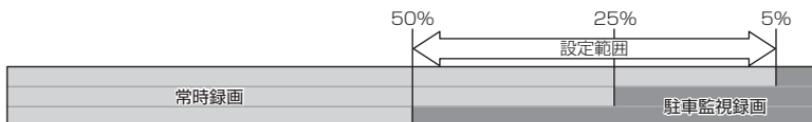
- ・お買い上げ時の設定では microSD カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画の領域として設定されています。
- ・設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。（⇒ P58）
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画と駐車監視常時録画の保存容量の割合は連動して変更されます。



- ※ 衝撃録画 / マニュアル録画データがない場合は 100% 常時録画を記録します。
- ※ 駐車監視録画方式を【衝撃】に設定した場合は、駐車監視常時録画の領域も全て駐車監視衝撃録画として保存されます。
- ※ 録画領域を変更すると、microSD カードの初期化が必要となり、記録されたデータがすべて消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへバックアップを行ってから設定を変更してください。

駐車監視録画割合について

- ・お買い上げ時の設定では microSD カード全体の 95% を常時録画、5% を駐車監視録画の割合として設定されています。
- ・設定により駐車監視録画のデータ保存容量の割合を [5% / 25% / 50%] から選択することができます。(⇒ P74)
- ・録画割合の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。



- ※ 駐車監視録画割合を変更する場合、microSD カードの初期化が必要となり、記録されたデータがすべて消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへのバックアップを行ってから設定を変更してください。
- ※ 駐車監視録画データがない場合でも常時録画の記録できる時間は変わりません。

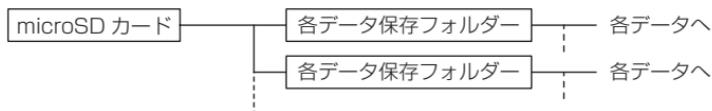
映像を撮る

保存先フォルダー名・ファイル名について

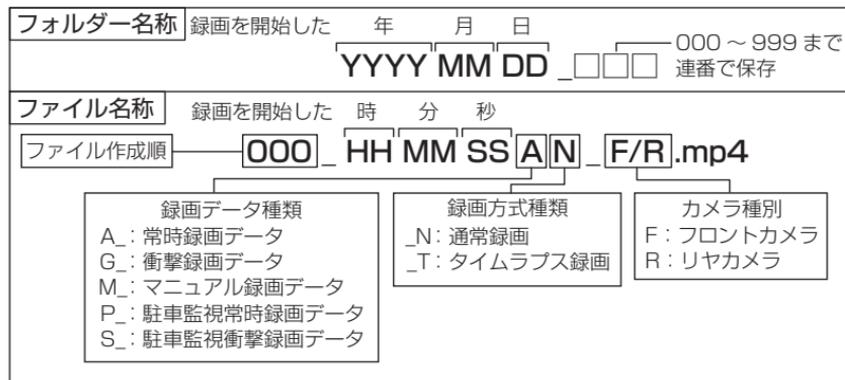
本製品が記録したデータは、録画を開始した日付をもとにしたフォルダーが自動で作成され、そのフォルダー内に録画データの種類・時間をもとにしたファイル名で保存されます。

フォルダーやファイルの変更または削除を行うと、microSD カードの初期化が必要となり、全ての動画が削除されますのでご注意ください。

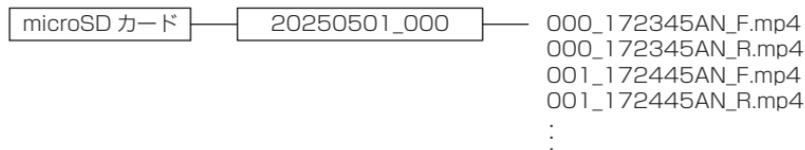
●フォルダー構成



●フォルダーおよびファイル名称は以下の内容で保存されます。

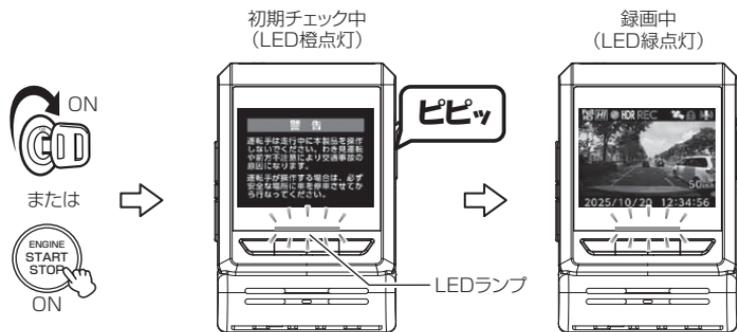


例) 2025/05/01 17:23:45 に常時録画を開始した場合



電源を ON にする

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。



LEDランプが橙点灯/点滅中は録画を行っていません

アドバイス

microSD カードチェック機能

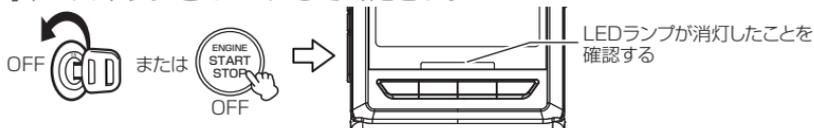
本製品では起動時に microSD カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※対処方法に関しては P86 を参照ください。

SD カードを
確認してください。

電源を OFF にする

車両キースイッチを OFF にしてください。



リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際はフロントカメラのリセットスイッチを先の細い物で押して、本製品のシステムを再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。



映像を撮る

録画面面表示



— 自車の走行速度を表示
※GPS受信時のみ表示

— 現在の日時を表示

	アイコン	表示内容
①		録画サイズの設定を表示 (⇒ P57)
②		画質の設定を表示 (⇒ P57)
③		高演色補正が有効なことを表示
④		HDR が有効なことを表示
⑤		録画方式を表示
⑥		録画種類 (衝撃 / マニュアル / 駐車常時 / 駐車衝撃) を表示
⑦		GPS の受信状態を表示
⑧		上書き禁止の設定内容を表示 (⇒ P58)
⑨		音声録音の設定内容 (OFF / ON 小 / ON 大) を表示 (⇒ P57)

■液晶表示の切替えについて

録画面面の表示は「フロント/リヤ表示切替スイッチ」を押すたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切替ります。



リヤカメラを接続していないと映像は切替りません。

■2画面表示について

- 液晶表示設定を【ON (2画面)】に設定するとフロントカメラとリヤカメラの映像を同時に表示することができます。(⇒ P62)
- メイン表示部とサブ表示部は「フロント/リヤ表示切替スイッチ」を押すことで切替えることができます。

リヤカメラを接続していない場合は 1画面表示になります。



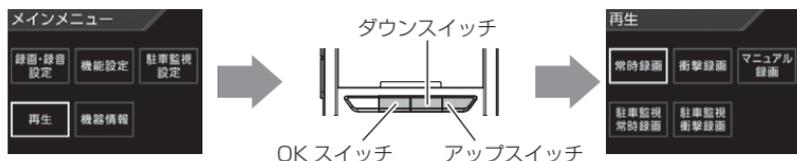
映像を見る

フロントカメラで映像を再生する

1. [メニュー/戻る] を長押しし、メインメニューを表示する。

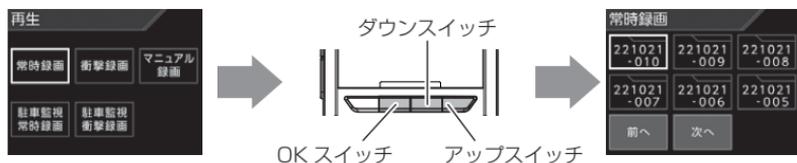


2. [再生] を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押して、再生種別画面を表示する。



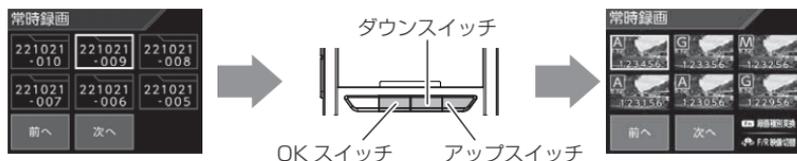
3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押して、再生フォルダ画面を表示する。

- [常時録画] 常時録画データを表示 (駐車監視録画データは除く)
- [衝撃録画] 衝撃検出による録画データを表示
- [マニュアル録画] スイッチ操作による録画データを表示
- [駐車監視常時録画] 駐車監視中の常時録画データを表示
- [駐車監視衝撃録画] 駐車監視中の衝撃検出による録画データを表示

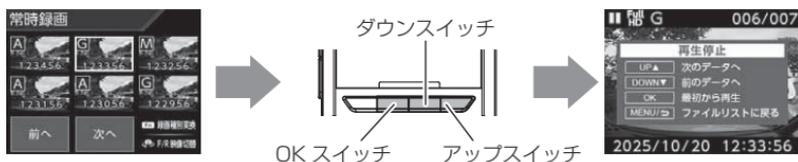


4. 見たいフォルダーを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押して、再生ファイル画面を表示する。

※フォルダー名称、ファイル名称に関しては (⇒ P32) をご参照ください。



5. 見たいファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと映像の再生画面を表示します。再生画面上で【OK】を押すと再生します。



6. 再生終了後は【メニュー / 戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画画面に戻ります。

※【メニュー / 戻る】スイッチを長押しすることで録画画面へ戻ることもできます。

👉 アドバイス

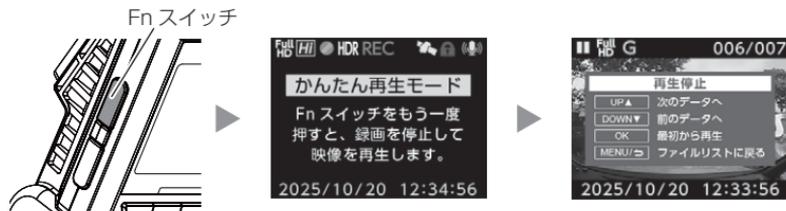
映像の一時停止 / 早送り

- 映像再生中に【OK】を短押しすると、再生中の映像が一時停止します。再度【OK】を短押しすると映像の再生が再開されます。
- 映像再生中に【OK】を長押しすると、再生中の映像を早送りすることができます。早送りを解除するには【OK】を短押しし、一時停止 / 再生操作を行ってください。



かんたん再生機能

- 本製品の【Fn】を押すことで、最後に撮影した映像を設定メニューに入らずに再生画面を表示できます。
- 再生画面や設定画面中に【メニュー / 戻る】を長押しすると録画画面に戻ります。
- ※ Fn スwitchの機能は設定で変更することができます。(⇒ P61)
- ※ パスワードを設定していると「パスワード設定中です」と表示されて再生できません。かんたん再生機能を使用する場合はパスワードを解除してください。(⇒ P66)



映像を見る

録画データの種別を変換する

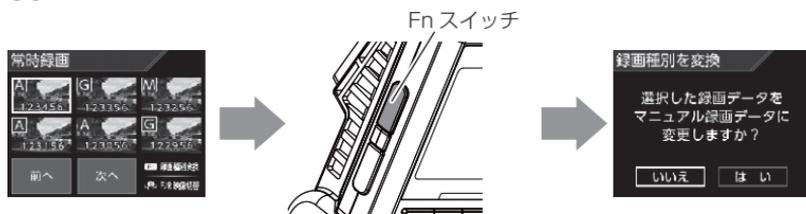
- 本製品で記録した録画データは、再生ファイル画面上で【Fn】スイッチを押し、録画データの種別を変換することができます。
- 録画データの種別を変換することにより、必要な録画データを常時録画データや駐車監視常時録画データに上書きされることを防いだり、不要なイベント録画データを常時録画データや駐車監視常時録画データに戻すことができます。

変換前の録画種別	変換後の録画種別
常時録画データ	マニュアル録画データ
マニュアル録画データ	常時録画データ
衝撃録画データ	常時録画データ
駐車監視常時録画データ	駐車監視衝撃録画データ
駐車監視衝撃録画データ	駐車監視常時録画データ

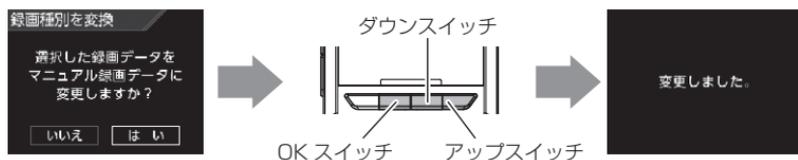
再生画面での操作方法

例：常時録画データからマニュアル録画データに変換するには・・・

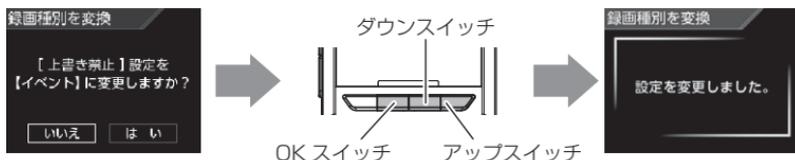
1. P36 を参考に、再生ファイル選択画面を表示する。



2. 【アップ】または【ダウン】で [[はい]] を選択して【OK】を押す。



3. マニュアル録画データへ変換後、[上書き禁止] 設定を【イベント】に変換するか確認画面を表示します。変換したマニュアル録画データの上書きを防ぎたい場合は【アップ】または【ダウン】で [はい] を選択して【OK】 を押してください。



⚠ 注意

- 上書き禁止設定を【ALL】または【イベント】に設定している場合は録画種別の変換はできません。
- 駐車監視モードの【録画方式】が【衝撃】となっている場合は、駐車監視常時録画データに変換することはできません。

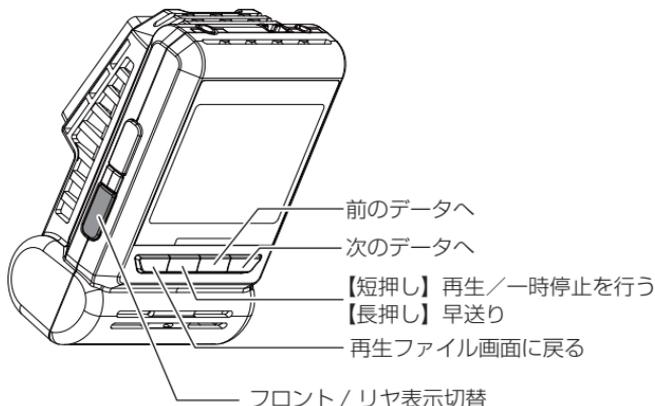
映像を見る

再生画面



	アイコン	表示内容
①	▶ ▶	動作状態（再生／一時停止／早送り）を表示
②	Full HD HD	録画サイズの設定を表示（⇒ P57）
③	G M P PG	録画種類（衝撃／マニュアル／駐車常時／駐車衝撃）を表示

再生画面での操作



再生画面ではフロントカメラの映像とリアカメラの映像を同時に表示することはできません。1画面ずつの切替え表示となります。また、切替え後はそのファイルの続きから再生を開始します。

ナビゲーションで映像を再生する

本製品をビデオ入力端子を備えたナビゲーションや車載モニターと別売オプションの AV ケーブルで接続することで、フロントカメラの液晶表示をナビゲーションや車載モニターに表示させることができます。

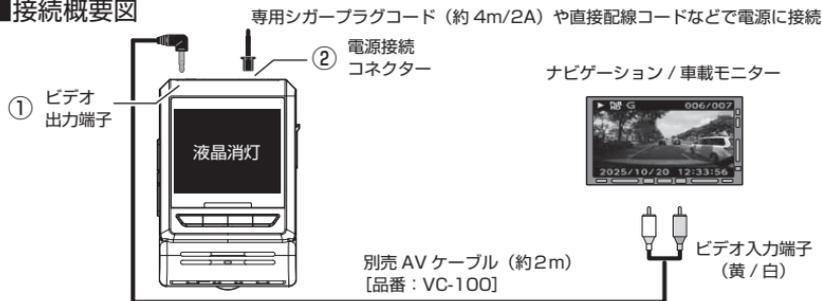
※ AV ケーブルを接続し車載モニターなどへ映像を出力した場合は、液晶表示設定 (⇒ P62) の設定内容にかかわらず車載モニターなどへ映像を表示します。

⚠ 注意

電源が ON の状態で AV ケーブルの抜差しを行わないでください。起動中に行うとフロントカメラが再起動するなど、動作が不安定になります。必ず、電源 OFF 後 LED ランプが消灯したことを確認してから AV ケーブルの抜差しを行なってください。

映像再生方法

■接続概要図



■再生方法

- 1) 別売 AV ケーブル (品番: VC-100) をフロントカメラのビデオ出力端子へ接続します。(上図 ①)
- 2) 付属シガープラグコードや別売直接配線コードなどをフロントカメラの電源接続コネクタに接続します。(上図 ②)
- 3) P36, P37 の手順に従い、記録した映像を再生してください。
(接続したモニターへ映像が表示されます。※フロントカメラ画面の表示は行いません)

市販の AV ケーブルを使用する場合

本製品で使用できる AV ケーブルの 4 極ミニプラグ端子の仕様は、下記のイラストのようになっています。

使用する際は必ず、下記仕様に沿った AV ケーブルを使用してください。

RCA 端子



4 極ミニプラグ端子



※本製品はモノラル音声のため、音声 (赤) は使用しません。

映像を見る

パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、専用ビューワソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。

またビューワソフトは、弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp>) より無料でダウンロードすることができます。

👉 アドバイス

- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS：日本語版 Windows 8.1/10/11
CPU：Intel Core i3 プロセッサ 2.4GHz 同等以上を推奨
メモリー：4GB 以上を推奨
画面解像度：Full HD (1980 × 1080 ピクセル) 以上を推奨
※タブレット PC を除く。
※ Microsoft Edge がインストールされていないと正常に動作しません。
※ Windows 11 以前のパソコンでは WebView2 ランタイムがインストールされていないと正常に地図が表示されません。
- ・パソコンの OS アップデートによりビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。
※最新版のビューワソフトが公開されている場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)

映像を再生する

- 1) 車両キースイッチを OFF 後、microSD カードカバーを開け、microSD カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、microSD カードを取り出します。

※駐車監視モード中は P74 を参考に取出してください。

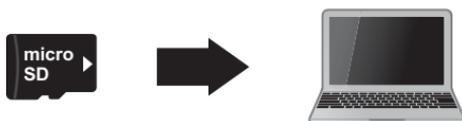
- ・ microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。
- ・ **アクセスランプ点灯中に引き抜くと録画データが破損し、ビューワソフトが起動しなくなります。その場合、パソコンで最後の動画(破損データ)を削除してください。**



⚠ 注意

- ・ microSD カードは高温になります。取り出す際はご注意の上取り出すか、しばらく時間を置いてから取り出してください。
- ・ microSD カードを取り出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- ・ microSD カード内に本機以外のデータを入れないでください。ビューソフトが正常に動作しなくなります。

2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ挿入します。



👉 アドバイス

ご使用のパソコンやカードリーダーに SD カードサイズのスロットしかない場合は、付属の「SD カード変換アダプター」を使用し、microSD カードを SD カードサイズに変換し、挿入してください。



ビューソフトを使用する

- 1) microSD カード内のショートカットファイル [HDR801_download] をダブルクリックし、表示されたダウンロードページより、専用ビューソフトをダウンロードします。



- 2) ダウンロードしたファイルを展開します。



映像を見る

- 2) で展開したフォルダー内にあるビューソフト [HDRviewerW4.exe] をダブルクリックし、ビューソフトを起動します。
- ⑭の再生したい日付のフォルダーを選び、⑮から見たい時間のファイルを選び⑯【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。



再生画面



アドバイス

- ・ビューソフト起動時、本製品のファームウェアの更新データがある場合、更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ) その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、ファームウェアの更新を行ってください。
- ・映像の再生中に microSD カードをパソコンから取り出すとビューソフトが正常に終了しなくなります。必ずビューソフトを終了させてから microSD カードの取り出しを行ってください。

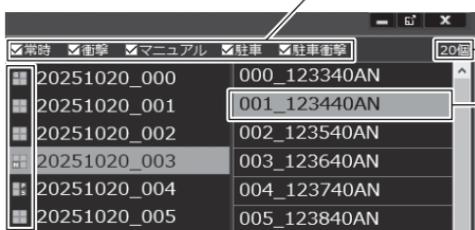
①	撮影動画を表示 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑳	【スロー】ボタン 再生速度を1/2にする ※早送りボタンで通常再生に戻る
②	現在の再生位置を表示	㉑	【早送り】ボタン 早送り再生を行う ※【スロー】ボタンで通常再生に戻る
③	加速度を数値で表示 またチェックボックスのON/OFFで加速度グラフへの表示/非表示を選択	㉒	【次】ボタン 現在再生中の1つ次のファイルに進む
④	再生データの録画日時を表示	㉓	【静止画】ボタン 押した時点の映像を静止画(jpeg)で1枚のみ保存する
⑤	録画サイズおよび画質の設定内容を表示	㉔	【結合】ボタン 選択した録画データを結合し、1つのファイルとして保存する
⑥	録画データの録音設定内容を表示	㉕	【拡大】ボタン ボタンを押すと拡大モードに移行し、画面をクリックした部分を2倍または3倍に拡大する ※画面をクリックするたびに切替え ※再度ボタンを押すと拡大モードを終了する
⑦	GPSの受信状態を表示	㉖	【正像/鏡像】ボタン リヤカメラの映像の正像/鏡像を切替える
⑧	自車の走行速度を表示	㉗	【マップ表示切替】ボタン ボタンを押す度にマップの表示/非表示を切替え ※地図情報OFFやGPS未受信状態での記録映像、インターネット未接続時はロゴを表示
⑨	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線..... 前後の加速度(X軸) 赤線..... 左右の加速度(Y軸) 紫線..... 上下の加速度(Z軸) [G]..... 衝撃を検出した場所 [M]..... スイッチ操作を検出した場所 [P]..... 駐車監視中に衝撃を検出した場所 [▲]..... 急加速を検出した場所 [▼]..... 急減速を検出した場所 [★]..... 急ハンドルを検出した場所 [※]..... 緊急録画停止を検出した場所 ※車速アラーム設定で選択した速度を超過した区間を赤に色付け	㉘	【参照】ボタン 録画データの参照先を変更する
⑩	【最小化】ボタン	㉙	【削除】ボタン ファイルリストで選択したデータを削除する
⑪	映像の表示サイズを切替える	㉚	【設定】ボタン ビューソフトの表示設定およびバージョン情報の表示を行う
⑫	【終了】ボタン ビューソフトを終了する	㉛	【CSV】ボタン 録画データをリスト化し、CSV形式で出力する(⇒P46)
⑬	各映像種類のチェックボックスのON/OFFで、ファイルリストへの表示/非表示を選択	㉜	【フロント/リヤ表示切替】ボタン メイン表示エリアとサブ表示エリアの映像を切替える
⑭	録画データのフォルダーリストおよび各フォルダーに記録されている映像種類をアイコンで表示(⇒P46)	㉝	ビューソフトの音量を変更する
⑮	録画データのファイルリストを表示	㉞	Googleマップを表示 ※GPS未受信状態での記録映像、インターネット未接続時はロゴを表示
⑯	録画ファイルの個数を表示	㉟	リヤカメラ撮影動画を表示 ※ウィンドウ表示位置の移動可
⑰	【先頭】ボタン 現在再生中の動画の最初に戻る		
⑱	【前】ボタン 現在再生中の1つ前のファイルに戻る		
⑲	【再生/一時停止】ボタン 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる		

映像を見る

録画ファイルエリアについて

表示しているフォルダーを選択することで他の動画を再生することができます。

■ファイルエリア

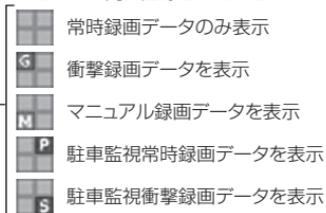


チェックボックスのON/OFFを行うことで表示/非表示を選択

選択中のフォルダー内のファイル数を表示

衝撃録画データおよび駐車監視衝撃録画データは背景色を黄色で表示

フォルダー内に記録されているイベントデータを表示



CSV 出力について

録画データの [ファイル名 / 日付 / 開始時刻 / 録画時間 / 録画トリガー / 録画サイズ / 画質 / フレームレート / データサイズ (フロント・リヤ)] をリスト化して CSV 形式で出力します。

表示設定について

- 1) ビューワソフトの【設定】ボタンを押します。



- 2) [ドライブサポート / 緊急録画停止 / 駐車監視衝撃 / 速度超過] のチェックボックスを ON/OFF することで、加速度グラフへの表示または非表示にすることができます。



映像を見る

パソコンで録画データを保存 / 削除する

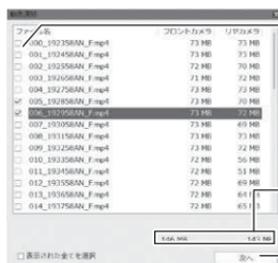
ビューワソフトの【結合】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データの連結または静止画で保存することができます。

また、【削除】ボタンを押すことで、録画データを選択して削除することもできます。

録画データを連結して保存する

- ・本製品で記録した録画データを連結して1つのファイルとして保存することができます。
 - ・動画の結合はmicroSDカード内の連続したデータのみ保存することができます。
 - ・最大で1GB(1024MB)まで連結することができます。ただし1GB以内でも、100ファイルを超えて連結することはできません。
- ※連結を行なった録画ファイルは色付けされます。

1) ビューワソフトの【結合】ボタンを押し、保存したいファイルにチェックマークを入れ【次へ】を押す。



①チェックマークを入れ、

合計容量が【1024MB】
を超えないように選択
してください

②【次へ】を押す

2) 動画を保存するフォルダーを指定し、【保存】を押す。



フォルダーを指定する

新しいフォルダーを作成

【OK】を押す

録画データを静止画で保存する

- 1) ビューソフトの【静止画】ボタンを押し、静止画の保存先を選択し、【OK】を押す。

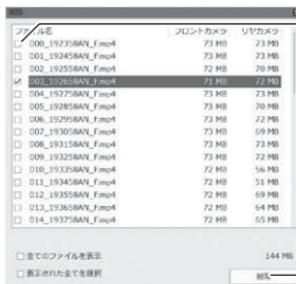


①保存先を選択し、

②【OK】を押す

録画データを削除する

- 1) ビューソフトの【削除】ボタンを押し、削除したいファイルにチェックマークを入れ、【削除】ボタンを押す。



①チェックマークを入れ、

②【削除】を押す

映像を見る

地図を表示する

- 1) ビューソフトの【マップ表示切替】ボタンを押すと地図の表示・非表示を切替えることができます。



《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃録画検出アイコン		マニュアル録画検出アイコン		急ブレーキアイコン (ドライブサポート)
	速度超過検出アイコン		急加速アイコン (ドライブサポート)		
	急ハンドルアイコン (ドライブサポート)		緊急録画停止検出アイコン		

👉 アドバイス

- ・地図上の検出位置アイコンをクリックすると映像の再生位置がアイコンの場所に移動します。
- ・ストリートビューでもアイコンは表示されますが、映像再生中の地図の移動はできません。

地図表示について

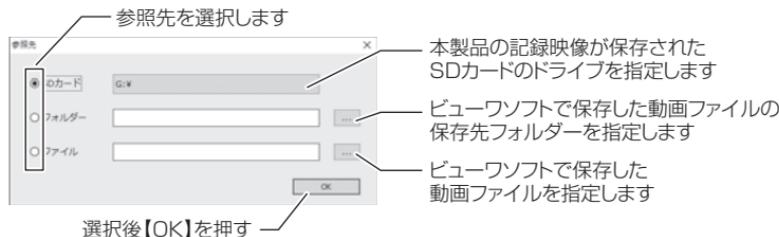
- Google マップはインターネット接続時および位置情報がある場合に表示されます。
 - 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル録画検出・ドライブサポート・緊急録画停止検出・速度超過検出の位置が表示されます。
 - 表示設定 (⇒ P47) でアイコンの表示・非表示を切替えることができます。
- GPS の受信状況により、走行軌跡が地図上の道路からズレることがあります。あらかじめご了承ください。
 - セキュリティソフトによりインターネットアクセスがブロックされている場合、地図の表示はできません。
 - Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。その際は弊社ホームページより最新版のビューソフトをダウンロードしてご使用ください。※変更内容により対応できない場合があります。

保存ファイルを開く

- 1) ビューソフトの【参照】ボタンを押します。



- 2) 参照先を指定することで、ドライブやフォルダーに保存した動画を見ることができます。



映像を見る

アドバイス

パソコンに保存したデータ（MP4 ファイル）を参照する際は、【フォルダー】または【ファイル】を選択してください。本製品で初期化した microSD カードのみ、【SD カード】を選択して microSD カードのドライブを指定することでデータを確認することができます。

更新情報について

弊社ホームページより最新の更新情報（ファームウェアソフト・ビューワソフト）をダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

アドバイス

- ・弊社ホームページに更新ソフトがある場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。（インターネット接続時のみ）
- ・更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新ソフトがない場合、掲載はありません。

設定方法

本製品のシステム設定は、フロントカメラのメインメニューから変更を行うことができます。

設定画面での操作方法

例：録画サイズの設定を【HD】に設定変更するには・・・

1. 【メニュー/戻る】を長押しし、【メインメニュー】を表示する。



2. 【録画・録音設定】が選択されているので、【OK】を押す。



3. 【ダウン】を1回押して【録画サイズ設定】を選択し、【OK】を押す。



4. 【ダウン】を1回押して【HD】を選択し【OK】を押す。



設定

5. 【ダウン】 を押しして 【OK】 を選択し、【OK】 を押すと確認画面表示します。

※ 続けて別項目を設定することもできます。



6. 【メニュー/戻る】 を 2 回押し 【メインメニュー】 を終了し設定モードを抜けます。

※ 【メニュー/戻る】 長押しで、設定モードを抜けることもできます。



7. SD カードの初期化が始まり、初期化が終了すると設定が完了して録画画面を表示します。



※ SD カードの初期化が終了する前に電源を OFF にすると、設定が変更前に戻る場合があります。

設定内容一覧

表内の【太字】は初期設定です。

録画・録音設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
おまかせ録画	キレイ / ロング / おすすめ	P57	※
録画サイズ	【Full HD (1920 × 1080)】 / HD (1280 × 720)		
フレームレート	【28.1fps】 / タイムラプス		
画質	【高画質】 / 低画質		
録音	OFF / ON (小) / 【ON (大)】		
イベント録画領域	10% / 【20%】 / 30%	P58	※
上書き禁止	【OFF】 / イベント / ALL		
フロントカメラ 高演色補正	Lv.1 / 【Lv.2】 / Lv.3	P59	
リヤカメラ 高演色補正	Lv.1 / 【Lv.2】 / Lv.3		
リヤカメラ上下反転	【標準】 / 反転		
リヤカメラ鏡像	【正像】 / 鏡像		
速度情報	OFF / 【ON】		
地図情報	OFF / 【ON】		

※ 設定を変更すると、microSD カードが初期化されます。

設定

機能設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
G センサー	OFF / 0.1G (敏感) ~ [0.6G] ~ 1.0G (鈍感)	P60	前後 / 左右 / 上下 それぞれ設定可能
日時設定	年月日 時分秒	P23	
タイムスタンプ	OFF / [ON]	P60	
緊急録画停止	OFF / 1.1G ~ [1.5G] ~ 2.0G		
Fn スイッチ	[再生] / 録画 / 録音	P61	
液晶明るさ	明るい / [標準] / 暗い	P62	
液晶表示	OFF / [速度運動] / ON (1 画面) / ON (2 画面) / 時計		
ドライブサポート	[OFF] / アラーム / 音声	P64	
車速アラーム	[OFF] / 10km/h ~ 140km/h	P65	
本体音量	OFF / 1 ~ [5] ~ 10		
パスワード	[OFF] / ON / パスワード登録 (任意の 4 桁英数字)	P66	
SD カードの初期化		P68	
工場出荷状態に戻す		P69	

駐車監視設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
駐車監視モード	[OFF] / ON	P71	※
録画割合	[5%] / 25% / 50%	P74	
録画方式	衝撃 / [常時+衝撃] / タイムラプス	P75	
停止電圧	12V 車 11.7V ~ [12.2V] (0.1V 単位で設定) 24V 車 23.4V ~ [24.4V] (0.2V 単位で設定)		
録画時間	30 分 / [1 時間] ~ 12 時間 / 24 時間 / 常時 ON		
衝撃録画停止	OFF / [ON]	P76	
衝撃お知らせ	OFF / [ON]		
衝撃感度	高 (敏感) / [中] / 低 (鈍感)		
降車キャンセル	1 分 / [3分] / 5 分		
乗車キャンセル	1 分 / [3分] / 5 分		

※ 設定を変更すると、microSD カードが初期化されます。

録画・録音設定

おまかせ録画設定※設定を変更すると microSD カードが初期化されます

- ・【録画サイズ】および【画質】の設定を一括で簡単に変更することができます。
- ・設定は [キレイ / ロング / おすすめ] から選択することができます。

■設定内容

設定	キレイ	ロング	おすすめ
録画サイズ	Full HD	HD	Full HD
画質	高画質	低画質	低画質

録画サイズ設定※設定を変更すると microSD カードが初期化されます

- ・記録する映像サイズを [Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720)] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【Full HD (1920 × 1080)】に設定されています。

フレームレート設定

- ・記録する映像のフレームレートを [28.1 fps / タイムラプス] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【28.1 fps】に設定されています。
- ※ タイムラプスに設定するとコマ送り撮影を行うため、LED (信号機含む) や衝撃検出時点の映像が記録されない場合があります。
- ※ タイムラプスに設定すると録音設定に関わらず、録音はされません。

画質設定※設定を変更すると microSD カードが初期化されます

- ・記録する映像の画質を [高画質 / 低画質] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【高画質】に設定されています。

録音設定

- ・記録する映像に音声の録音を行うかを [OFF / ON (小) / ON (大)] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【ON (大)】に設定されています。

設定

イベント録画領域設定※設定を変更すると microSD カードが初期化されます

- ・ イベント録画（衝撃録画およびマニュアル録画）の容量割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。
- ・ お買い上げ時は【20%】に設定されています。
- ※ イベント録画件数が少ない場合は、常時録画領域として使用されます。

■ microSD カード容量によるイベント録画件数

設定	microSD カード容量				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
10%	4 件	8 件	16 件	31 件	63 件
20%	7 件	16 件	31 件	63 件	125 件
30%	11 件	24 件	47 件	94 件	188 件

※ 太枠は付属 microSD カードを示します。

※ 上記件数は初期設定の録画サイズ（FullHD）・画質（高画質）・駐車監視録画割合（5%）での目安となり、実際とは異なる場合があります。また、駐車監視衝撃録画は含みません。

上書き禁止設定

- ・ 録画データが microSD カード容量の上限まで達した場合の動作を、[OFF / イベント / ALL] から選択することができます。
- ・ お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

設定		上限に達した場合	
		常時録画	イベント録画
OFF	 すべての録画データを上書きします。	上書きして録画を継続	
イベント	 イベント録画データのみ上書きされません。	上書きして録画を継続	上限まで録画を継続
イベント FULL			録画を停止
ALL	 すべての録画データは上書きされません。	録画を停止	

フロントカメラ高演色補正設定

- ・フロントカメラの高演色補正「Recolize」(⇒ P8) の補正量を [Lv.1 / Lv.2 / Lv.3] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【Lv.2】に設定されています。

リヤカメラ高演色補正設定

- ・リヤカメラの高演色補正「Recolize」(⇒ P8) の補正量を [Lv.1 / Lv.2 / Lv.3] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【Lv.2】に設定されています。

リヤカメラ上下反転設定

- ・リヤカメラで撮影する映像の上下方向を [標準 / 反転] から選択することができます。
- ・設置場所により [標準 / 反転] を変更してください。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

リヤカメラ鏡像設定

- ・本体の液晶ディスプレイで表示するリヤカメラの映像を [正像 / 鏡像] から選択することができます。
 - ※ リヤカメラで撮影する映像は【正像】で撮影を行います。変更することはできません。
- ・【鏡像】に設定することでバックミラーで後方を確認したような映像を表示できます。
- ・お買い上げ時は【正像】に設定されています。

速度情報設定

- ・速度情報の記録を [OFF / ON] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。
 - ※ 設定を OFF にすると、ビューワソフトの速度表示が OFF に表示され、フロントカメラの速度表示も非表示になります。

地図情報設定

- ・地図情報の記録を [OFF / ON] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。
 - ※ 設定を OFF にすると、ビューワソフトで地図表示を ON にしても地図が表示されません。

設定

機能設定

G センサー設定

- ・衝撃を検出する感度を前後・左右・上下のそれぞれ [OFF/0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感)] から選択することができます。
- ・[OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・車両後方に取付ける場合は、前方取付けより縦揺れが大きくなるため、初期値より鈍感に調整することをおすすめします。
- ・お買い上げ時は【0.6G】に設定されています。**運転状況に合わせて調整ください。**

アドバイス

0.6G は、車がフルブレーキで停車する程度の加速度です。この設定値では、停車中のもらい事故やバンパーをこする・軽くへこむ程度の事故などでは衝撃記録されません。その場合は常時録画の映像を保存してください。

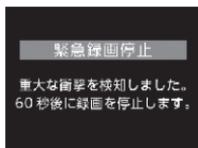
タイムスタンプ設定

- ・本設定を ON にすることで録画データに録画日時を埋め込むことができます。設定は [OFF / ON] から選択することができます。
- ・本設定を ON にすることで専用ビューワソフトを使用せずに、Windows Media Player などで再生する際にも録画日時を確認することができます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

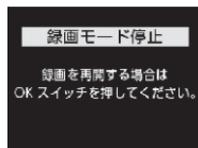
タイムスタンプ機能は録画しながら映像へ日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。

緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 60 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF / 1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感)] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【1.5G】に設定されています。



▶
60 秒後



⚠ 注意

強い衝撃を検出し、録画が停止するまでの60秒の間に設定メニューに入る、microSD カードを抜く、その他メッセージ表示が出た場合は本機能による録画の停止は行われません。ご注意ください。

👉 アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

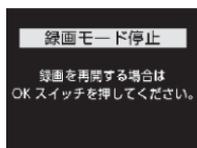
そのため事故後 microSD カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場での修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。

万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし、microSD カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをおすすめします。

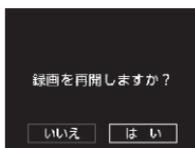
■録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。

※ 再開するまで3分に一度ブザー音でお知らせします。



①【OK】を押す



②【ダウン】を押して【はい】
選択後【OK】を押す



③録画が再開される

Fn スイッチ設定

- ・Fn スイッチ(ファンクションスイッチ)の動作内容を [再生 / 録画 / 録音] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【再生】に設定されています。

[再生]最後に撮影した映像を設定メニューに入らず再生します。(⇒ P37)

[録画] マニュアル録画を行います。

[録音]一時的に録音設定の ON/OFF を切替えます。

※録音設定の ON には [ON (大)] と [ON (小)] があります。

設定

👉 アドバイス

【録音】設定について

- ・録音設定にすると、Fn スイッチを押すたびに ON (大) /OFF または ON (小) /OFF に切替わります。
- ・Fn スイッチ操作により設定を切替えた場合、再起動や設定メニューに入る、緊急録画停止機能が作動するなどの場合、【録音設定】(⇒ P57) で選択した設定に戻ります。

液晶明るさ設定

- ・液晶ディスプレイの明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

液晶表示設定

- ・録画モード中の液晶ディスプレイの表示を [OFF / 速度連動 / ON (1 画面) / ON (2 画面) / 時計] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【速度連動】に設定されています。

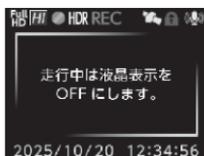
■設定内容

- [OFF]液晶ディスプレイの表示を行いません。【メニュー / 戻る】スイッチを押した時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
- [速度連動]起動後速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切替わります。停車後も非表示のままとなりますが、【メニュー / 戻る】スイッチを押すことにより、次回 10km/h 以上で走行するまでの間、表示を行います。
- [ON (1 画面)]液晶ディスプレイを常に表示します。フロントカメラまたはリヤカメラの映像を全画面で表示します。(⇒ P35)
- [ON (2 画面)]液晶ディスプレイを常に表示します。フロントカメラとリヤカメラの映像を同時に表示します。(⇒ P35)
- [時計]時計とカレンダーを常に表示します。
※時計表示中に【メニュー / 戻る】スイッチを押すと 30 秒間録画映像を表示します。

👉 アドバイス

速度連動設定について

- ・ 起動時は液晶ディスプレイを常に表示し、GPS を受信するまでの間、液晶ディスプレイを表示します。
- ・ 速度 10km/h 以上で走行し液晶ディスプレイが消灯する際は、メッセージ画面を表示し、消灯します。また走行中に【メニュー/戻る】スイッチを押した際もメッセージ画面を表示し、消灯します。



■設定方法

例：液晶表示設定を【ON（1画面）】に設定変更するには・・・

- 1) P53,54 の操作方法を参考に、録画画面表示上で【メニュー/戻る】を**長押し**し、[メインメニュー] を表示する。
- 2) 【ダウン】を 1 回押し [機能設定] を選択して【OK】を押す。
- 3) [機能設定] 画面が表示されるので、【アップ】を 1 回押しして【次へ】を選択して【OK】を押しページを切替え、【ダウン】を 1 回押し [液晶表示設定] を選択して【OK】を押す。
- 4) [液晶表示設定] 画面が表示されるので、【ダウン】を 1 回押しして [ON（1画面）] を選択して【OK】を押す。



設定

- 5) 【メニュー/戻る】を2回押して録画画面に戻り、液晶ディスプレイが常に表示されることを確認して完了です。



ドライブサポート機能

- ・急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出した場合、音声またはアラームでお知らせします。
- ・運転状況に応じてアナウンスは異なります。

運転状況	内容
急加速時	ピロリロリン♪ 急発進を検知しました。
急減速時	ピロリロリン♪ 急ブレーキを検知しました。
急ハンドル時	ピロリロリン♪ 急ハンドルを検知しました。

※ [G センサー] 設定が【0.3G】以下の場合はお知らせしません。

※ 自車の走行速度が 30km/h 未満の場合は急ハンドル時のお知らせを行いません。

例) 急ブレーキを行なった場合



急ブレーキを行い、一定以上の G を検出

「ピロリロリン♪
急ブレーキを検知しました。」

👉 アドバイス

- ・ G センサーの設定に応じて検出レベルが変化します。
- ・ アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・ スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。

◇長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

※ ドライブサポート機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になりました。そろそろ休憩してください。」

車速アラーム機能

- ・設定した速度を超えた場合に、アラームでお知らせします。
- ・警告後 1 分間は再アラームを行いません。



自車が設定した速度を超える

「キンコン♪
キンコン♪
キンコン♪」

本体音量設定

- ・本体の確認音や再生時の音量を [OFF / 1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【5】に設定されています。
- ※ 音量を OFF に設定してもメッセージ音はお知らせします。

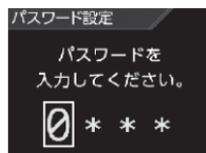
設定

パスワード設定

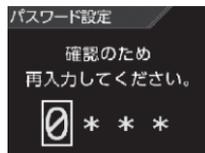
- ・パスワードを設定することで、他人に録画データを見られないようにするなど、プライバシーの保護やセキュリティを強化することができます。
 - ・パスワードを設定すると、設定メニューに入る際にパスワードを入力しないとメニュー画面が表示されません。
 - ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。
- ※ パスワードを設定していると、Fn スイッチ操作による [再生] 操作も行うことができません。([録画]、[録音] 操作は可能です)

■設定方法

- 1) P53,54 の操作方法を参考に、録画画面表示上で【メニュー/戻る】を**長押し**し、[メインメニュー] を表示する。
※ 60 秒間スイッチ操作を行わないと録画画面に戻ります。
- 2) 【ダウン】を 1 回押し [機能設定] を選択し【OK】を押す。
- 3) [機能設定] 画面が表示されるので、【アップ】を 1 回を押して [次へ] を選択して【OK】を押してページを切替え、【アップ】を 3 回押し [パスワード設定] を選択し、【OK】を押す。
- 4) 【アップ】で [パスワード登録] を選択し、【OK】を押す。
- 5) 【アップ】【ダウン】で英数字を選択し、【OK】で決定する。
※ 「*」が入ったままだと設定できません。



6) 5) を繰り返し4文字のパスワードを入力し【OK】を押すと、確認画面が表示されるので再度設定したパスワードを入力し【OK】を押す。



7) 【アップ】で [ON] を選択して【OK】を押すと設定完了です。



パスワードについて

【パスワードを設定した場合】

パスワードを忘れないように管理してください。

【誤ったパスワードを入力した場合】

『パスワードが違います』と表示されるので、再度入力を行なってください。

【パスワード設定を解除する場合】

パスワードを入力して設定メニューに入り、パスワード設定画面で [OFF] を選択してください。

【パスワードを忘れてしまった場合】

パスワードの入力を5回失敗すると [工場出荷状態に戻す] 確認画面を表示します。 [工場出荷状態に戻す] を行なうと録画データもすべて消去され設定内容が初期化されてしまいますのでご注意ください。

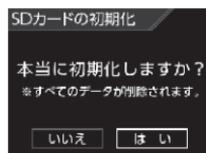
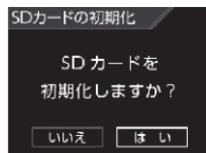
設定

SD カードの初期化（録画データの消去）

- ・ microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。
（初期化を行っても本製品の設定情報は保持されます）
- ・ 新しい microSD カードや付属以外の microSD カードを使用する場合は、必ず SD カードの初期化を行なってください。
- ※ microSD カード内のデータがすべて消去されます。必ず事前に、録画データが必要な場合はバックアップを行なってください。ビューソフトは弊社ホームページからダウンロードすることができます。
- ※ 安定してご使用いただくため、定期的に初期化することをおすすめします。

■初期化方法

- 1) P53,54 の操作方法を参考に、録画面面表示上で【メニュー/戻る】を**長押し**し、【メインメニュー】を表示する。
※ 60 秒間スイッチ操作を行わないと録画面面に戻ります。
- 2) 【ダウン】を 1 回押し【機能設定】を選択し【OK】を押す。
- 3) 【機能設定】画面が表示されるので、【アップ】を 1 回を押して【次へ】を選択して【OK】を押しページを切替え、【アップ】を 2 回押し【SD カードの初期化】を選択し、【OK】を押す。
- 4) 【ダウン】で【はい】を選択し、【OK】を押す。
- 5) 【ダウン】で【はい】を選択し、【OK】を押すと SD カードが初期化されます。



工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。

 注意

消去したデータを復元することはできません。

設定

機器情報

本製品の情報を表示します。



バージョン

本製品のファームウェアバージョンを表示します。

入力電圧

本製品への入力電圧を表示します。

※ 表示される数値はあくまでも参考値となります。常時電源の接続箇所や本製品の設定内容によって値に誤差が発生しますが、異常ではありません。

駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードについて

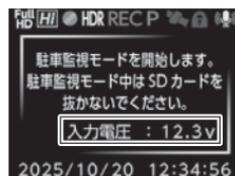
- ・別売オプションのCDOP-01P『駐車監視・直接配線コード』を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- ・CDOP-01P『駐車監視・直接配線コード』を接続後は設定モードより【駐車監視モード】の設定を変更してください。接続しただけでは駐車監視モードに移行しません。
- ・別売のCDOP-02D『直接配線コード』を接続しても駐車監視モードを使用できません。

⚠ 注意

- ・駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- ・次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。（毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している）
- ・駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- ・車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・長時間録画を行う場合、microSD カードの容量やフロントカメラの設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

駐車監視モードに設定する前に

- ・別売の『駐車監視・直接配線コード』を取付けたら、【メニュー / 戻る】を**長押し**し、メインメニュー → 駐車監視設定 → 録画停止電圧設定を表示します。現在の**入力電圧**が表示されるので、テスターなどを使用して常時電源接続ポイントと入力電圧の数値に大きな差がないことを確認します。
- ・駐車監視中の**入力電圧**の確認は【駐車監視モード】をONに設定して、車両キースイッチをOFFにした後の駐車監視モード移行画面でも確認することができます。



👉 アドバイス

- ・常時電源線の接続箇所と電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアース線接続箇所の変更を行なってください。
- ・表示される数値はあくまでも参考値となります。本製品の設定内容によっても表示誤差は発生します。
- ・常時電源線のカットや延長は、表示数値の誤差が大きくなりますので行わないでください。

駐車監視モード
を使用する

駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードの動作について

駐車監視モードに移行する

- ・ [駐車監視モード] 設定を ON に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
- ・ 駐車監視モード動作中は LED ランプが緑 3 回早点滅を繰り返します。
- ・ 駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。

■ 駐車監視モード動作中



緑 3 回早点滅

アドバイス

車両キースイッチ OFF 後、[降車キャンセル] (⇒ P76) 設定時間内は、降車時の振動による衝撃とみなし、衝撃の検出を行いません。

駐車監視モードを終了する

- ・ 駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点や **[Fn] スイッチを長押し** することで終了させることができます。
- ・ 停止電圧設定以下になった際や駐車監視録画時間設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

■ 駐車監視モードを手動で終了する場合

車両キースイッチを ACC または ON にする



[Fn] スイッチを長押しする



■ 駐車監視モードが自動的に終了される場合

車両バッテリーの電圧が低下する



設定した録画時間を経過する



アドバイス

- ・ 駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことをアラームでお知らせします。また、お知らせ画面を解除するまで録画を開始しません。
- ・ 車両キースイッチを ACC または ON にする直前の [乗車キャンセル] (⇒ P76) 設定時間内に検出した衝撃は、乗車時の振動による衝撃とみなし上記お知らせを行いません。

駐車監視衝撃お知らせ機能

駐車監視モード動作中に衝撃を検知した場合、次回起動時、駐車監視モード中に衝撃があったことをアナウンスでお知らせします。お知らせ後は【OK】スイッチを押すまで録画を開始しません。

ワнтайм駐車監視モード機能

- ・通常駐車監視モードを【OFF】に設定していても、録画中またはエンジン停止後 60 秒以内に **【Fn】スイッチを長押しすること**で、一時的に駐車監視モードを ON にすることができます。
- ・外出先でのみ駐車監視モードを使用したい場合などにご使用することをおすすめします。

駐車監視モードパス機能

- ・通常駐車監視モードを【ON】に設定していても、**【Fn】スイッチを長押しすること**で、一時的に駐車監視モードを OFF にすることができます。
- ・機械式立体駐車場や振動の多い場所、風の強い日など、本製品が衝撃を検出してしまうような場所へ駐車する際にご使用することをおすすめします。
- ・駐車監視モード中に操作を行うことで、駐車監視モードを終了することができます。

アドバイス

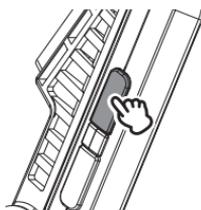
「ワнтайм駐車監視モード」「駐車監視モードパス機能」は、車両キースイッチを ON にし、電源を ON にすることで解除され、[駐車監視モード設定] による設定に戻ります。

駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モード作動中の microSD カードの取り出し方

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしてもフロントカメラは動作しています。そのため microSD カードを取り出す際は、**必ず【Fn】スイッチを長押しして駐車監視モードを終了後、microSD カードアクセスランプが消灯したことを確認し、microSD カードを取り出して**ください。

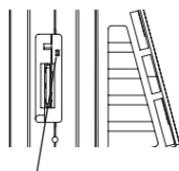
駐車監視モード作動中
(LED3 回早点滅の繰り返し)



【Fn】スイッチを長押しする



駐車監視モード停止
(LED 消灯)



microSD カード
アクセスランプ
(LED 消灯)

⚠ 注意

microSD カードは高温になります。取り出す際はご注意の上取り出すか、しばらく時間をおいてから取り出してください。

駐車監視モードの各種設定

駐車監視モード設定

- ・本製品の駐車監視モードは [OFF / ON] から選択できます。
- ・設定の変更を行うと [録画割合設定] を表示します。
駐車監視モードを使用する場合は、録画割合を 25% または 50% に、
駐車監視モードを使用しない場合は、5% に変更してご使用ください。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

録画割合設定※設定を変更すると microSD カードが初期化されます

- ・駐車監視録画データの保存容量の割合が [5% / 25% / 50%] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【5%】に設定されています。

録画方式設定※設定を変更すると microSD カードが初期化されます

- ・本製品の駐車監視録画方式設定は [衝撃 / 常時・衝撃 / タイムラプス] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【常時・衝撃】に設定されています。
[衝撃] 駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。
[常時・衝撃] 駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。
[タイムラプス] 駐車監視モード中、1秒に1枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。
※タイムラプスに設定すると録音設定に関わらず、録音はされません。

👉 アドバイス

タイムラプス録画について

- ・タイムラプス録画に設定した場合、通常 1 ファイルあたりに記録される実時間は 15 分になります。15 分の記録を 1 分で再生し短時間で確認することができます。
- ・タイムラプス中に衝撃を受けた場合、衝撃ポイントは記録されますが、表示位置がズレることがあります。
- ・予期せぬ電源 OFF の際は、録画データが短く（最大 1 秒）保存される場合があります。

録画停止電圧設定

- ・駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を 12V / 24V 車両それぞれ 6 段階から選択できます。
- ・お買い上げ時は 12V 車両は【12.2V】 24V 車両は【24.4V】に設定されています。
12V 車両 [11.7V / 11.8V / 11.9V / 12.0V / 12.1V / 12.2V]
24V 車両 [23.4V / 23.6V / 23.8V / 24.0V / 24.2V / 24.4V]

録画時間設定

- ・駐車監視モードの動作時間を [30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 5 時間 / 6 時間 / 7 時間 / 8 時間 / 9 時間 / 10 時間 / 11 時間 / 12 時間 / 24 時間 / 常時 ON] から選択できます。
 - ・【常時 ON】に設定すると、車両バッテリー電圧が [録画停止電圧設定] で設定した電圧に低下するまでの間、動作を行います。
 - ・お買い上げ時は【1 時間】に設定されています。
- ※ 設定時間で終了した場合、最後の録画データは 1 分より短く記録されることがあります。

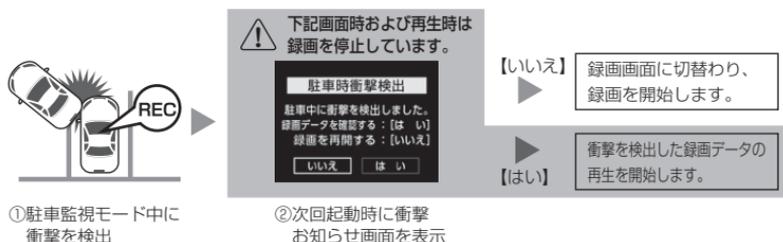
駐車監視モードを使用する（オプション）

衝撃録画停止設定

- ・ 駐車監視モード中に衝撃を検出した場合に、上書き防止のため5分後に録画を停止します。
- ・ お買い上げ時は【ON】に設定されています。

衝撃お知らせ設定

- ・ 駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことを画面とブザー音でお知らせします。お知らせ中は【アップ】または【ダウン】スイッチを押して[いいえ]を選択し、【OK】スイッチを押してお知らせを解除するまで**録画を開始しません**。
- ・ お買い上げ時は【ON】に設定されています。



衝撃感度設定

- ・ 駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を [高（敏感） / 中 / 低（鈍感）] から選択できます。
- ・ お買い上げ時は【中】に設定されています。

降車キャンセル設定

- ・ 車両から降車時の振動や衝撃による記録を行わない時間を [1分 / 3分 / 5分] から選択することができます。
- ・ お買い上げ時は【3分】に設定されています。

乗車キャンセル設定

- ・ 車両から乗車時の振動や衝撃によるお知らせを行わない時間を [1分 / 3分 / 5分] から選択することができます。
- ・ お買い上げ時は【3分】に設定されています。
- ※ 駐車監視衝撃録画データとして記録されます。

タイムラプス録画設定時の記録時間

〔録画方式〕設定を【タイムラプス】に設定した場合、1秒に1枚の静止画を記録することで、1分間のファイルに15分間分の映像が収録されます。

録画サイズ	画質	録画割合（microSD カード 32GB）		
		5%	25%	50%
FullHD	高画質	約 2 時間	約 10 時間	約 20 時間
	低画質	約 2 時間	約 12 時間	約 25 時間
HD	高画質	約 2 時間	約 14 時間	約 28 時間
	低画質	約 5 時間	約 25 時間	約 51 時間

- ※ 本製品の初期設定は録画サイズが【FullHD】、画質が【高画質】に設定されています。
- ※ 上記の記録時間はあくまで参考値です。
- ※ 市販の microSD カードを使用する場合は、必ず本体で動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 使用する microSD カードによっては上記録画時間と異なる場合があります。

駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも「録画時間」設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が「録画停止電圧」設定以下になると、駐車監視モードを終了します。
※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中にフロントカメラの使用温度範囲を超えた場合、録画を停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. 「駐車監視モード」設定が **[ON]** に設定されていることをご確認ください。
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両バッテリーの電圧が「録画停止電圧」設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
3. CDOP-01P『駐車監視・直接配線コード』の常時電源線（黄）を、車両 ACC 線へ接続していたり、未接続だと駐車監視モードへは移行しません。

Q. 駐車監視モードを使用せず、走行中のみ録画したい

- A. 「駐車監視モード」設定を **[OFF]** に設定してください。

Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

- A. 駐車監視モード作動中はフロントカメラの LED ランプが下記点滅を繰り返します。

状態	LED ランプ
駐車監視モード作動中	緑 3 回早点滅
駐車監視モード作動中（衝撃のみ）	橙 3 回早点滅
駐車監視モード作動中に衝撃を検出	緑点滅

Q. 側方の映像も録画しますか？

- A. カメラの向いている方向のみの録画となります。

Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

- A. 1. 駐車監視モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。
2. リヤガラスがプライバシーガラスになっている場合、夜間の記録映像は特に見えにくくなります。

補償サービスについて

本製品には万が一の事故に遭われた際にお見舞金として登録から1年間、一律2万円を補償する補償サービスが付いています。

補償サービスを受ける場合下記手順に従い、登録、申請を行なってください。

1. 加入者リストへ登録する

本製品購入後、**1ヶ月以内**に弊社HPにて補償サービスを申し込み、加入者リスト登録を行なってください。

※ **登録が1ヶ月を過ぎた場合、補償サービスは受けられません。**

補償サービス登録ページ URL :

<https://www.e-comtec.co.jp/hosyou/recorder/index.html>

2. 事故に遭われた場合の申請方法

- 1) 下記必要書類 **4点をすべて揃え**、事故日より**2ヶ月以内**に弊社サービスセンターまで送付します。**当日消印有効**

※ **必要書類不足や2ヶ月以内に送付もしくは連絡しなかった場合、また補償サービス提供期間前の事故は、補償サービスは受けられません。**

- ・ ドライブレコーダー補償サービス利用依頼書（弊社HPよりダウンロード）
- ・ 警察の発行する事故証明書
- ・ 対象車両の修理見積書（事故後の見積発行日より**2ヶ月以内**）
- ・ 本製品の事故映像データまたは対象車両に本製品が装着されていたことがわかる資料（車種、ナンバーがわかる写真など）

- ・ 事故映像データは、付属 microSD カードまたはビューワソフトにて保存された動画データを CD-R や DVD-R などの記録メディアにコピーしてお送りください。
- ・ お送りいただいた書類、microSD カードや記録メディアなどの返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

- 2) 弊社にて書類を受付確認後、『ドライブレコーダー補償サービス利用依頼書』に記載していただいた口座へお見舞金を振り込ませていただきます。

👉 アドバイス

補償サービスの更新について

本補償サービスは登録から1年間有効です。また2年目からは有料で更新することができます。（1年ごとの更新、最長3年間）

ただし、一度でも補償サービスを受けられた場合は、更新を行うことができません。詳しくは弊社ホームページをご確認ください。

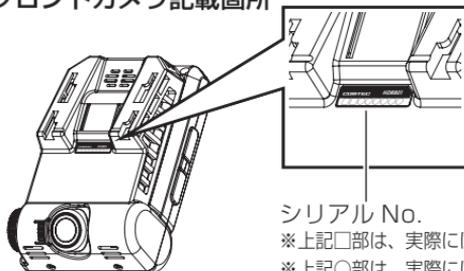
補償サービス

👉 アドバイス

本製品のシリアル No. 記載場所

補償サービスへ申し込む際に、パッケージまたは本製品に記載のシリアル No. を記入する必要があります。未記入の場合や誤った内容を記入されていた場合、補償サービスが受けられなくなりますので、間違えの無いようご注意ください。

■フロントカメラ記載箇所

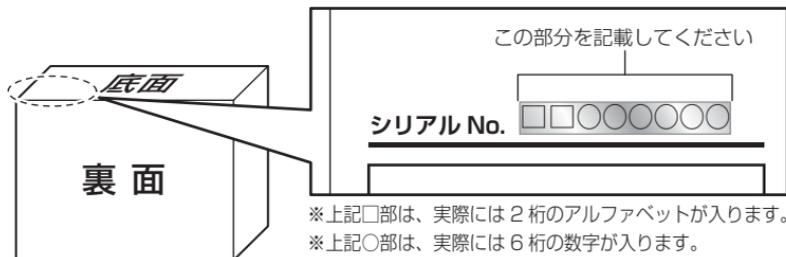


シリアル No.

※上記□部は、実際には2桁のアルファベットが入ります。

※上記○部は、実際には6桁の数字が入ります。

■パッケージ記載箇所



※上記□部は、実際には2桁のアルファベットが入ります。

※上記○部は、実際には6桁の数字が入ります。

ドライブレコーダー補償サービス約款

第1条（本規約の適用範囲）

この約款（以下「本約款」といいます。）は、株式会社コムテックが提供する第4条（本サービスの内容）所定の補償サービス加入者リストに登録し、事故等の時点で利用しているお客様をいいます。

第2条（定義）

1. 「加入者様」とは、株式会社コムテックが販売するドライブレコーダーを購入し、所定の方法で株式会社コムテックの補償サービス加入者リストに登録し、事故等の時点で利用しているお客様をいいます。
2. 「本サービス」とは、株式会社コムテックが加入者様に提供するドライブレコーダーの補償サービスをいいます。

第3条（本サービスの対象自動車）

本サービスの対象となる自動車（以下「対象自動車」といいます。）は、株式会社コムテックのドライブレコーダーを設置した自動車とします。

第4条（本サービスの内容）

1. ドライブレコーダーを購入した加入者様が、ドライブレコーダーを設置した対象自動車を損傷する車両事故に巻き込まれた場合に見舞金を支給します。ただし、警察の発行する事故証明が取得できる事故に限ります。
●見舞金額：一律2万円
2. 本サービスの適用を受けるには、次の各号に該当しなければならないものとします。
 - (1) ドライブレコーダーを購入し、対象自動車に設置すること。
 - (2) 所定の方法で本サービス加入者リストに登録されること。
 - (3) 第2条第1項に記載の事項を満たしていること。
3. 加入者様が事故等により損害を被った対象自動車の修理を依頼し、かつ、「補償サービス利用依頼書」を株式会社コムテックに提出した場合に、加入者様は対象自動車に関して見舞金を受け取ることができます。
4. 本サービスを受けようとする場合、加入者様は次の資料を株式会社コムテックまで提出することとします。
 - (1) 補償サービス利用依頼書
 - (2) 警察が発行する事故証明書
 - (3) 対象自動車の修理見積（事故日、見積有効日より2ヶ月以内）
 - (4) ドライブレコーダーの事故映像データ
 - (5) 対象のドライブレコーダーが装着されていたことの方の資料
※ (4)(5)は、いずれかの資料を提出してください。

第5条（本サービスの提供期間）

本サービスの提供期間は本サービス加入者リスト登録日から1年後の応当日まで（以下、サービスの期日といいますが）とします。また、本サービス加入者リスト登録日は次のいずれかの日とします。

- (1) Web経由にて登録する場合はWeb登録日の翌日0時から
※原則、本サービス加入者リスト登録は製品の購入後1ヶ月以内に行わなければなりません。

第6条（本サービスの提供回数）

1. 本サービスの提供は、サービス提供期間中のいずれか1回の事故に限るものとし、複数回の事故による損傷をまとめて修理する場合でも1回の事故による損傷のみが本サービスの提供対象となります。
2. 本サービスの提供は、ドライブレコーダー1台に対し1回のサービスとさせていただきます。一度、サービスを受けた加入者様は自動的に加入者リストの登録を抹消させていただきます。また、サービスの更新もできないものとさせていただきます。

第7条（本サービスの更新）

1. 本サービスはmicroSDカードの購入に合わせて更新することができます。ただしサービスを受けた場合には、それ以降の更新は一切できないものとします。
2. 本サービスの更新は、最初の登録を含め3回までとします。
3. 更新の申込みはサービスの期日から前後1ヶ月以内に第5項の手続きをしてください。
4. 更新後の期日はサービスの期日からさらに1年後の応当日まで更新するものとします。
5. 更新の申込みは、株式会社コムテックの運営するWebサイトからのみ手続きが可能とさせていただきます。
6. 加入者様の更新手続き完了を株式会社コムテックが確認した時点で加入者様へ「更新手続き完了のご案内」と新しいmicroSDカードを送付させていただきます。
7. サービスの期日から1ヶ月を過ぎても更新の申込みがない場合、自動的に補償サービス加入者リストから登録を抹消させていただきます。

補償サービス

8. サービスの期日以降の事故につきましては、更新手続きが完了していない限り補償サービスの適用対象外とさせていただきます。

第8条（本サービスを行わない場合）

- 次の各号のいずれかに該当する場合は、本サービスの提供期間中であっても本サービスの提供は行われません。
 - 警察への事故届けがない場合
 - 補償サービス利用依頼書、その他株式会社コムテックが求める資料の提出がない場合
 - 加入者様からご提出いただく書類等に知っている事実を記載しなかった、または、不実の記載がある場合
 - 事故等が発生した日から2ヶ月を経過した後に、株式会社コムテックへの事故等の通知がなされた場合、又は対象自動車の修理のために入庫がなされた場合
 - 対象自動車が日本国外において損害を被ったとき
 - 法令等により禁止されているにもかかわらず対象自動車に定着、または、装着されている物に生じた損傷、および、当該物に起因して生じた損傷
 - 直接、または、間接を問わず、次の事由によって対象自動車が損傷した場合
 - 加入者様、又は加入者様の許可を得て対象自動車を運転した者の故意、重大な過失、および、法令違反による事故の自動車の損傷
 - 地震、もしくは噴火又は津波その他の天災地変
 - 核燃料物質（使用済核燃料を含み、以下同様とします。）もしくは、核燃料物質によって汚染された物（原子核分裂生成物を含みます。）の放射性、爆発性その他有害な特性の作用、または、これらの特性に起因する事故
 - 戦争・外国の武力行使・革命・政権奪取・内乱・武装反乱・その他類似の事変又は暴動（群集または、多数の者の集団行動によって全国、または、一部の地区において著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められた場合
 - 差押え、収用、没収、破壊など国又は公共団体の公権力の行使
 - 詐欺、または、横領
 - 取扱書等に示す方法と異なる使用、不適切な保管、通常の使用の限度を超える過酷な使用（レース・ラリー等による過酷な走行、エンジンの過回転、過積載等）、または、レース場での事故
 - 対象自動車に存在する欠陥、通常の使用損耗あるいは経年変化により発生する現象（消耗部品・油脂類の消耗、劣化、腐食、摩滅、錆び等。樹脂部品・塗装面・メッキ面等の自然の褪色、劣化、腐食、摩滅、錆び等）
 - 故障（偶然かつ外来の事故に直接起因しない電氣的、または、機械的損傷をいいます）
 - 法令により定められた運転資格を持たないで、または、酒酔い・酒気帯び、もしくは、大麻・大麻・アヘン・覚醒剤、シンナー等の影響により正常な運転ができないおそれがある状態における対象自動車の運転による事故の自動車の損傷。
 - 加入者様の犯罪行為、または、闘争行為
 - 盗難などで加入者様の許可を得ないで対象自動車が運転された場合の事故

第9条（本約款の変更）

株式会社コムテックは、本約款を予告なくいつでも変更することができるものとします。この場合、変更日以降の本サービスの提供内容、および、提供条件は変更後の約款が適用されるものとします。

第10条（個人情報の取扱）

- 株式会社コムテックは、本サービスに関する加入者様の氏名、および、対象自動車に関する情報その他の個人情報（以下「個人情報」といいます）を、本サービスの引受判断、本サービスの履行の目的で利用し、当該目的に必要な範囲で書面、または、電子媒体により本サービスの提供に係る損害保険会社、および、保険代理店に第三者提供します。ただし、加入者様ご自身のお申出により、当該加入者様ご自身の個人情報の第三者提供を停止することができます。
- 株式会社コムテックは、業務委託先に個人情報を預託する場合は、個人情報を保護するための措置を講じたうえ預託します。
- 個人情報の開示、訂正、および、その他のお問合せに関しましては取扱説明書の裏面、および、パッケージ記載の株式会社コムテックサービスセンターまでご連絡ください。なお、お問合せに係る書面、および電話等の内容につきましては記録を行い保存させていただきます場合があります。

本約款は2014年6月1日から発効します。

よくあるご質問

よくお問い合わせいただくご質問を記載しています。
下記内容をご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。	参照ページ
フロントカメラの液晶表示が消える。	● [液晶表示設定] が [速度運動] になっていませんか？ [ON (1 画面)] または [ON (2 画面)] に変更することで液晶ディスプレイを常に表示することができます。	62 ページ
LED ランプが点灯しない。	● シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？ ● 接触不良や断線などしていませんか？	— 14 ページ
GPS 衛星を受信しない。	● フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ● カメラ側に電波を遮断する物はありませんか？	6 ページ 15 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	● ビューワソフトを使用してファイルを削除することができます。	49 ページ
事故の衝撃映像が保存されていない。	● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをおすすめします。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	● [録画サイズ] および [画質] の設定を変更することで記録時間を変更することができます。	57 ページ
microSD カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	● microSD カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。	26 ページ
	● イベント録画データ (衝撃 / マニュアル / 駐車監視衝撃) は上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定しているとメッセージが表示され、上書きできません。録画を再開するにはビューワソフトで不要なデータを削除するか、上書き禁止設定を [OFF] に設定してください。	58 ページ
microSD カードに録画データが保存されていない。	● microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度走行する場合で約 1 ~ 2 年を目安に交換することをおすすめします。また使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。	8 ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	● microSD カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？	8 ページ
	● 必要な映像をパソコンへ保存してから、フロントカメラで microSD カードの初期化を行ってください。	9,48 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	5 ページ
microSD カードがパソコンで認識されない。	● お使いの microSD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。	—
ビューワソフトが起動しない。	● microSD カードに不要なデータや破損ファイルがあるとビューワソフトが起動しなくなります。必要なデータをパソコンに保存してから、フロントカメラで microSD カードをフォーマットしてください。	8,48 ページ

付 録

LED ランプ確認表

本製品動作時の LED ランプの確認表です。

フロントカメラ LED 表示	リヤカメラ LED 表示	フロントカメラ 動作	内容
緑点灯	緑点灯	録画中	録画中
緑点滅		録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯		録画停止	設定モード中
橙点滅		録画停止	メッセージ表示または緊急録画停止中
緑・橙交互点滅		録画停止	本体ファームウェアのアップデート中
駐車監視時			
緑 3 回早点滅	緑点灯	録画中	駐車監視モードによる録画中
橙 3 回早点滅		監視中	衝撃待機中 ※録画方式 [衝撃] を選択
緑点滅		録画中	駐車監視モードによる衝撃録画中 降車キャンセルタイマー中

お知らせ音一覧表

本体動作時のお知らせ音一覧表です。

運転者は走行中に本製品を操作しないでください。
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

お知らせ音	メッセージ	本体動作	内容
ピピッ	—	録画開始	本体起動後、録画開始時
ブブ	各種メッセージ表示中	録画停止	メッセージ一覧参照 (⇒ P86)
ピッ	—	録画中	マニュアル録画時 (⇒ P25)
	—		衝撃検出時 (⇒ P27)
	録画を開始します。	録画開始	緊急録画停止再開時 (⇒ P60)
ピッピッピッ	緊急録画停止 重大な衝撃を検知しました 60 秒後に録画を停止します。	録画中	緊急録画検出時 (⇒ P60)

お知らせ音	メッセージ	本体動作	内容
ピピピピピ	録画モード停止 録画を再開する場合は OK スイッチを押してください。	録画停止	緊急録画停止中 (⇒ P60)
	駐車時衝撃検出 駐車中に衝撃を検出しました。		駐車監視衝撃お知らせ画面表示 (⇒ P73)

オートディマー機能

オートディマー機能により、周囲の明るさによって LED ランプと液晶の明るさを自動的に調整します。

商標について

- microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴは SD-3C LLC の  商標です。
- Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴ、ストリートビューは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- PureCel Plus-S は OMNIVISION の商標または登録商標です。
- ACCENTUALIZER はマクセル株式会社の登録商標です。
- その他本取扱説明書に記載されている各種名称や会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

付 録

メッセージ一覧表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

※ 下記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

メッセージ	対処方法
SDカードが挿入されていません。	電源を OFF 後 microSD カードを挿入し、再起動してください。
SD カードを 確認してください。	microSD カードの断片化が進み、microSD カードが故障した際に表示されます。電源 OFF 後、microSD カードを抜き、端子部が汚れていないか確認し、microSD カードを挿入し再起動してください。 症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行なってください。それでも改善されない場合は microSD カードの故障が考えられるため、microSD カードの交換をおすすめします。
SD カードの初期化を行なってください。	新しい microSD カードを挿入すると表示されます。初期化を行なってください。
本体設定と録画データの 設定が一致しません。 本体設定を変更するか SDカードを初期化してください。	設定が異なる microSD カードを挿入すると表示されます。 ※ [SD カード] または [本体設定] を選択したほうが初期化されます。
高温注意 本体温度が下がるまで 録画を停止します。	フロントカメラの使用温度範囲を超えているため、正常に録画できないことが考えられます。夏場などはしばらく時間を置いて車内の温度が下がってからご使用ください。
イベント録画データが 保存上限に達しました。	上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定した状態で、microSD カードの容量を超えて録画しようとした際に出るメッセージです。
録画データが 保存上限に達しました。	上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、ビューワソフトで不要な録画データを消去してください。
リセットスイッチを押して 再起動してください。	リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。症状が改善されない場合は、弊社サービスセンターへご相談ください。
パスワードが違います。	パスワードが間違っています。正しいパスワードを再度入力してください。
しばらくお待ちください。	録画データの読み込みに時間がかかる際に表示します。処理が終了するまでしばらくお待ちください。※状況により数分かかる場合があります。
日時がリセットされました。 日時設定を行い、 1 時間程度走行してください。	長期使用していない場合や内蔵バッテリーの寿命など、内蔵バッテリーの充電不足により日時情報がリセットされた際に出るメッセージです。1 時間程度走行し内蔵バッテリーの充電を行なってください。症状が改善されない場合は弊社サービスセンターまでご相談ください。
書き込み速度が低下しています。 必要なデータを保存のうえ、 SD カードの初期化を 行ってください。	microSD カードの書き込み速度が低下時にメッセージを表示し、録画データを書き込めない状態が継続した場合、本体を再起動します。 再起動後もメッセージが表示される場合は、microSD カードの故障が考えられるため、microSD カードの交換をおすすめします。

メッセージ	対処方法
更新に失敗しました。 本体のいずれかのスイッチを 押すか、10秒経過すると 再起動します。	機種名をご確認のうえ、専用のファームウェアをもう一度ダウンロードして更新を行なってください。
リヤカメラの映像がありません。	本体再生でリヤカメラの映像が無い場合に出るメッセージです。
リヤカメラを 確認してください。	リヤカメラが接続されていない場合や正常に動作していない場合に出るメッセージです。カメラ通信ケーブルの抜差しを行っても、症状が改善されない場合は弊社サービスセンターまでご相談ください。

付 録

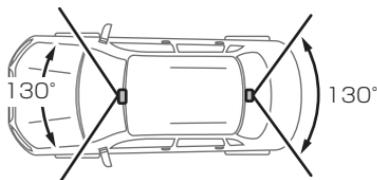
製品仕様

電源電圧	DC12V/24V	
最大消費電流	通常時：650mA 以下 / スーパーキャパシタ充電時：1100mA 以下	
動作温度範囲	-10℃～60℃	
カメラ	フロントカメラ	リヤカメラ
撮像素子	1/2.8 型 CMOS センサー	1/2.8 型 CMOS センサー
総画素数	200 万画素	200 万画素
有効画素数	最大 200 万画素	最大 200 万画素
レンズ画角	水平 130° 垂直 68° (対角 158°)	水平 130° 垂直 68° (対角 158°)
F 値	F2.0	F2.0
レンズ材質	ガラス	ガラス
記録映像サイズ	FullHD (1920 × 1080) HD (1280 × 720)	
録画画質	FullHD	高画質 (平均 10Mbps) / 低画質 (平均 8Mbps)
	HD	高画質 (平均 7.2Mbps) / 低画質 (平均 4Mbps)
GPS	○	
G センサー	○	
記録方式	常時録画 / イベント録画 (衝撃録画) / マニュアル録画 (手動録画)	
録画ファイル構成	1 分	
音声録音	ON/OFF 可能	
フレームレート	フロントカメラ	リヤカメラ
	28.1 fps	28.1 fps
映像ファイル形式	MP4 (MPEG-4 AVC / H.264)	
記録映像再生方法	専用ビューワソフト ※ Windows8.1/10/11 専用 (タブレット PC 除く) ビデオ出力 (別売オプション: AV ケーブル [VC-100]) 本体液晶	
記録媒体	microSD カード (付属: 32GB/class10) 8 ~ 128GB 対応 class10 推奨	
液晶サイズ	2.4 インチフルカラー TFT 液晶	
本体サイズ	フロントカメラ	リヤカメラ
	66.6(W) × 102(H) × 44.4(D)/mm	61.5(W) × 25.5(H) × 23.6(D)/mm
	取付ステー装着時	66.6(W) × 102(H) × 47.6(D)/mm
		61.5(W) × 51(H) × 23.6(D)/mm
重量	194g	38g

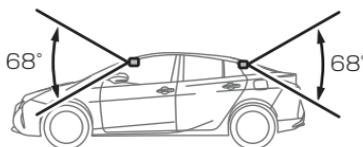
※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

■ カメラ画角イメージ

■ 水平画角



■ 垂直画角



1/A		駐車監視録画割合	31
Fn スイッチ	61	長時間運転報知機能	64
GPS	7	ドライブサポート	64
G センサー	60	は	
microSD カードについて	8	パスワード	66
microSD カードの初期化	68	ビューワソフト	42
PureCel®Plus-S について	8	ファイルシステム	9
Recolize について	8	ファイル名	32
あ		フォルダー名	32
イベント録画	27	フレームレート	57
イベント録画件数	58	補償サービス	79
イベント録画領域	58	ま	
上書き禁止	58	マニュアル録画	28
液晶明るさ	62	ら	
液晶表示	62	録音	57
オールリセット	69	録画サイズ	57
おまかせ録画	57	録画領域	58
か		わ	
画質	57	ワンタイム駐車監視モード機能	73
かんたん再生機能	37		
記録時間	29		
緊急録画停止機能	60		
高演色補正	59		
さ			
シガープラグコード	14		
車速アラーム	65		
衝撃お知らせ	73		
衝撃録画	27		
衝撃録画停止	76		
常時録画	26		
た			
タイムスタンプ	60		
タイムラプス録画	77		
地図情報	59		
駐車監視降車キャンセル	76		
駐車監視衝撃感度	76		
駐車監視乗車キャンセル	76		
駐車監視モードバス機能	73		
駐車監視録画時間	75		
駐車監視録画停止電圧	75		
駐車監視録画方式	75		